

北野天満宮旧蔵文書・古記録の目録作成および研究

(課題番号 16720149)

平成16～18年度科学研究費補助金（若手研究（B））

研究成果報告書

平成19年3月

研究代表者 山田雄司

（三重大学人文学部助教授）

はじめに

本書は科学研究費補助金（若手研究（B））による研究「北野天満宮旧蔵文書・古記録の目録作成および研究」（平成16～18年度 課題番号16720149）の研究成果報告書である。

北野天満宮に関する古文書・古記録は、現在では各所に分かれて所蔵されているため、その全貌をうかがい知ることは困難である。しかし、文書群全体を把握した上で利用する場合と、そうした把握なしに部分的に利用した場合では、おのずと理解に差が生じよう。また、文書がいかに伝来してきたかを把握しておくことも、文書の理解につながるはずである。

本報告書では、こうしたことを前提に、明治維新前にどのようなかたちで文書が伝来してきたのかできるかぎり復元することにつとめ、かつての所蔵ごとに分類しようと試みた。ただし、北野天満宮所蔵分および筑波大学附属図書館所蔵分については、いくつかの所蔵先から流入したと推測されるが、分割することはせず一括して目録を作成した。

目録の範囲は、基本的に慶長19年（1614）までとした。そのため、明治大学博物館所蔵の北野社関係文書などは掲載しなかった。また、対象は狭義の「文書」「古記録」に限定し、棟札・縁起・連歌・経典等の調査は行わなかった。

巻末に掲載した「北野天満宮寄進状壹巻」および「北野天満宮領丹波国船井荘相伝文書」は、これまでは目録が作成され一部は翻刻されているが、文書群全体の翻刻はないので掲載することにした。また、中世北野社関係論文については、三重大学人文学部日本中世史（山田雄司）研究室ホームページ <http://onryo.syuriken.jp/> に掲載しているので、あわせて参照されたい。

なお、本報告書で用いる北野天満宮の呼称について、中世においては、北野社、北野宮、北野宮寺、北野聖廟、天満天神廟、北野天神、北野天満宮などさまざまであったが、「北野社」で代表させ、明治から戦前のことに言及する場合は「北野神社」、戦後から現在に至るまでのことについて言及する場合は「北野天満宮」を用いることとする。

本報告書作成にあたり、以下の機関・個人（順不同・敬称略）の協力を得たので、記して感謝します。

筑波大学附属図書館、国立歴史民俗博物館、国立公文書館、東京大学史料編纂所、早稲田大学図書館、北野天満宮、京都大学総合博物館、京都橘大学図書館、京都府立総合資料館、京都府立丹後郷土資料館、大阪城天守閣、跡部信、石川登志雄、伊藤太、岩崎奈緒子、吹田直子、高橋一樹、高橋典幸、野田泰三、羽田聡、早島大祐、藤井譲治、山澤学、山本隆志

また、データベース入力作業については、三重大学人文学部文化学科学生小林美穂・浅田麻未さんに手伝っていただいたので、記して感謝します。

研究経費

平成16年度 1,700,000 円 平成17年度 900,000 円 平成18年度 1,300,000 円

総計 3,900,000 円

目次

1. 北野天満宮旧蔵文書・古記録の概要	1
2. 古記録	3
(1) 松梅院記録	3
【北野天満宮所蔵古記録】	3
【筑波大学附属図書館所蔵古記録】	3
【天理大学附属天理図書館所蔵】	7
【早稲田大学図書館伊地知文庫所蔵北野社松梅院引付】	7
(2) 目代記録	7
【北野天満宮所蔵目代日記】	7
(3) 宮仕記録	8
【北野天満宮所蔵宮仕記録】	8
(4) 沙汰承仕家旧蔵古記録目代記録	9
【京都橘大学図書館所蔵北野社沙汰承仕家記録】	9
3. 古文書	10
(1) 松梅院旧蔵文書	10
【筑波大学附属図書館所蔵文書】	10
【京都大学総合博物館所蔵北野松梅院文書】	20
【東京大学史料編纂所所蔵北野松梅院文書】	21
【東京大学史料編纂所所蔵北野宮寺政所下文】	21
【東京大学史料編纂所所蔵北野宮寺政所補任并転任状】	21
【早稲田大学図書館所蔵荻野研究室収集文書】	22
【京都府立総合博物館所蔵文書北野文書】	23
【奥野高廣氏所蔵文書】	23
【柏木探一郎氏所蔵文書】	23
【谷村順蔵氏所蔵文書】	24
【思文閣待賈文書】	24
(2) 徳勝院旧蔵文書	24
【大阪城天守閣所蔵徳勝院文書】	24
【国立歴史民俗博物館所蔵田中穰氏旧蔵北野神社旧蔵文書】	24
(3) 光乗坊旧蔵文書	26
【東京大学史料編纂所所蔵北野光乗坊文書】	26
【東京大学史料編纂所所蔵北野光乗坊文書】	28
【大阪城天守閣所蔵北野光乗坊文書】	29
(4) 沙汰承仕家旧蔵文書	29
【京都橘大学図書館所蔵北野社宮仕沙汰承仕家文書】	29
(5) 一保社旧蔵文書	29
【北野天満宮所蔵文書】	29
4. 史料翻刻	40
【北野天満宮寄進状壹巻】	40
【北野天満宮領丹波国船井荘相伝文書】	59

1. 北野天満宮旧蔵文書・古記録の概要

北野天満宮に関する古記録・古文書は、明治の神仏分離令により社僧が還俗し、神官も世襲でなくなったことにより、所蔵形態が大きく変化することになった。すなわち、それぞれの祠官家、宮仕家などで保有されていた文書類は、その家が神社との関係がなくなることにより、文書を保有している理由もなくなり、あるときは神社に寄贈され、あるときは売却されるなどして、散逸することとなった。

北野天満宮旧蔵文書の中で大部分を占めるのが、松梅院が有していた文書群である。中世北野社の組織に関しては、鍋田英水子「中世後期「北野社」神社組織における「一社」」(『武蔵大学人文学会雑誌』29-1・2、1997年)に詳しいが、松梅院は公文所として観応の擾乱以後、北野社の中で中心的位置を占めるようになった。また、將軍御師職・御殿職・神事奉行も兼ねており、現存する文書も最も多く、代々の松梅院主によって書き継がれた「引付」は、北野社の様相を伺う上で最も重要な史料である。

松梅院旧蔵の古記録は、現在では北野天満宮・筑波大学附属図書館・天理大学附属天理図書館・早稲田大学図書館で所蔵されていることが確認できる。松梅院に関する文書・古記録は、維新後に還俗して正神主兼社務となった吉見氏が所持していたが、その一部は明治30年(1897)以前に北野神社に寄贈された。「明治卅年頃力」と表紙に貼紙のある『宝物什器古文書目録』(請求番号：記録甲 177)には、「記録 拾六綴 宝徳年中ヨリ慶長年中マテ当社雑書」「記録 拾九綴 嘉元年中ヨリ文明年中マテ当社雑書」とあり、これは現在北野天満宮所蔵の「引付」および「記録」を指しているものと思われる。このことから、北野天満宮所蔵の記録類と他機関所蔵の記録類とは、すでに早い段階で分かれていたと推測されるが、その理由は不明である。後者の分については、おそらく引き続き吉見氏が所有していたが、吉見氏が北野神社から離れ、さらには種々の理由により史料を手放したことにより、市中に出回ったものと推測される。

文書に関しては、表紙に『古文書宝物什器再取調書 北野神社』(請求番号：記録甲 175)と墨書され、「明治八年十月調」と朱書される冊子の「文書之部」に「朱黒印 二十七通」とあり、これは朱印状1巻26通(請求番号：宝物 10)に相当し、明治のはやい段階で北野神社所蔵となっている。宛所は松梅院宛が大部分であることから、松梅院で所持していたとも思われるが、朱印状という特殊性および他の松梅院所蔵の文書は北野神社所蔵となる時期が遅れるため、朱印状1巻は北野社自体で所蔵されていた可能性が高いだろう。同じく、朝鮮征伐願文など数通も北野社自体に伝来した文書であろう。

その他、成巻された5巻(請求番号：貴重品 39)は宛所が松梅院であることから、松梅院に伝来したとみられ、『宝物什器古文書目録』に記されることから、明治30年以前に北野神社に寄進されたことがわかる。他の文書は筑波大学附属図書館・東京大学史料編纂所・京都大学総合博物館等で所蔵されるほか、一枚ごと分かれていて、現在では不明になったものも多数ある。

北野天満宮所蔵で「北野神社」の野紙に筆写されている『北野社御供所七保一ノ社神宝並諸道具』(請求番号：記録甲 173)は、朱で「一ノ保社宝物引継目録 北野神社」とあり、明治5年に神役所に提出された神宝届の控である。ここに記される文書群は、もと安楽寺御供所に鎮座していた一之保社に伝来したが、神仏分離により安楽寺が廃絶となり、明治6年7月に一

之保社が北野天満宮境内へ遷座したことにともない、神宝類も天満宮に移管されることになった。同目録には、御神画、御神号、土佐光起筆御絵伝、同筆御祭礼絵巻、法華経、菅公文草、猫丸御剣などとともに、数々の文書も記されている。足利二代將軍義詮公管領^{源義持書、竹ノ内宮当}、足利二代將軍義詮公管領^{源義持書、石見法印当}、足利三代將軍義満公書^{酒麴免許、御下知状}、足利四代將軍義持公書^{酒麴免許、御下知状}、細川左京太夫源満元公書、足利四代將軍義持公管領^{源義重書}、畠山左衛門督源政長書^{義俊、御下知状}、畠山左衛門督源持国書^{義俊、御下知状}、以下応永廿六年酒麴卷物二卷など、酒麴役に関する文書等を一保社で所持していたことがわかり、現在北野天満宮で所蔵する文書の多くはこうした経緯で神社所蔵となったものである。

『古文書宝物什器再取調書 北野神社』『文書之部』では、一之保社から移譲された文書がかなりの部分を占めており、内閣文庫所蔵で明治 10 年 4 月に作成された『北野神社古文書宝物目録』（請求番号：160-0030）でも同内容である。これはすなわち北野社自体にはほとんど文書を有さず、祠官、目代、宮仕、承仕、神人等がそれぞれ文書を所持していたことを意味する。北野社には縁起、神号等は伝来していたが、文書・記録類はそれに関係する諸機関・個人に伝来してきたのである。

また、『明治廿七年調 物品目録』（請求番号：記録甲 176）と表紙にある冊子の「文書之部」には、「豊臣氏女房ふゆ子書簡（現在の文書名は「ふゆ書状」『北野天満宮史料 古文書』249）」以下 13 通の文書（請求番号：貴重品 38）は明治 16 年（1883）4 月 28 日に京都府在住の某氏から寄附されたことが記されており、こうした形で北野神社に寄進された文書も少なからずある。

本調査では、北野天満宮に伝来されてきた文書について、もとはどのように所蔵されていたのかを確認することが目的であった。漏れ落ちているものも多々あると思われるので、今後逐次補っていきたい。また、北野社に残された文書だけでなく、北野社より発給された文書と対照させることにより、はじめて中世北野社の様相を明らかにできるものと思われ、この点は今後の課題としたい。

以上、文書の伝来に関しては、京都大学大学院文学研究科教授藤井譲治氏にさまざまのご教示をいただいたので、記して感謝します。

2. 古記録

(1) 松梅院記録

【北野天満宮所蔵古記録】

『北野社家日記』〈史料纂集〉(続群書類従完成会) および北野天満宮史料刊行会編『北野天満宮史料 古記録』(北野天満宮)に翻刻。ただし、中世古記録に関しては一部未翻刻で、北野天満宮史料刊行会により翻刻作業中である。

番号	和暦	文書名	差出	刊本
1	(正和元年4月10日)	紅梅殿社記録		古記録
2	(弘安6年～暦応4年)	御簾調進記録		古記録
3	(応安5年7月)	遷宮記(永正1写)	禪光	古記録
4	(応安5年)	遷宮記	権上座禪光	古記録
5	永徳元年12月	神輿造替記録		古記録
6	至徳3年2月	神輿中門廻廊等造替記録		古記録
7	応永5年8月	北野宮三年一請会条々記録	口光(花押)	古記録
8	応永5年	三年一請会記録	禪嚴法印禪尋法眼記録也	古記録
9	応永8年	祝詞(永正1写)	禪光	古記録
10	応永13年	辻老松社造替記録		古記録
11	応永31年	旧古引付書抜(文正元年6月作成)	禪予(花押)	古記録
12	永享5年5月16日	諸祠官記録		古記録
13	永享6年正月1日	預記録		古記録
14	嘉吉2年	御神宝注文	(禪融)	古記録
15	嘉吉3年	三年一請会記録(上記の文書に合冊)		古記録
16	文安2年4月21日	千代徳殿勸請遷宮記録		古記録
17	文安2年8月	祭礼引付	(花押)	古記録
18	文安4年	目安等諸記録書抜		古記録
19	文安5年	法花堂記録		古記録
20	宝徳元年10月1日	日記(宝徳元年10月1日～12月29日)		社家日記
21	享徳4年5月	三年一請会停止記録	御判在之	古記録
22	康正3年2月25日	御社参記録	禪親(花押)	古記録
23	寛正2年	禪盛記録		
24	文明6年7月26日	禪輿動座并回禄記録		古記録
25	長享2年正月1日	引付(長享2年正月1日～12月晦日)		社家日記
26	長享2年6月	神記	法眼禪予	古記録
27	長享3年4月1日	引付(長享3年4月1日～6月29日)		社家日記
28	長享3年9月1日	引付(長享3年9月1日～10月30日)		社家日記
29	延徳4年8月1日	引付(延徳4年8月1日～9月30日)		社家日記
30	明応3年3月3日	引付(明応3年3月3日～4年6月9日)		
31	明応8年11月1日	引付(明応8年11月1日～9年2月28日)		社家日記
32	永正元年	社家条々引付(永正元年～12年)		社家日記
33	永禄4年3月17日	古記録甲(永禄4年3月17日～永禄4年8月5日)		古記録
34	永禄4年8月6日	古記録乙(永禄4年8月6日～永禄4年12月30日)		古記録
35	天正16年3月12日	北野檜皮葺奉加帳		古記録
36	天正16年6月	日記(天正16年6月～17年9月9日)		
37	天正17年10月15日	日記(天正17年10月15日～19年閏正月4日)		社家日記
38	天正19年5月8日	日記(天正19年5月8日～7月13日)		社家日記
39	天正19年7月25日	日記(天正19年10月19日～12月18日)		社家日記
40	天正20年	天正廿年日記抜書		古記録
41	慶長3年11月	小預記録	小預能長(花押)	古記録
42	慶長4年4月1日	社家引付(慶長4年4月1日～7月7日)		社家日記
43	(慶長5年)	禪昌公事社法書抜		古記録
44	慶長6年3月1日	引付(慶長6年3月1日～6月19日)		社家日記
45	慶長7年6月25日	引付(慶長7年6月25日～8月1日)		社家日記
46	慶長17年5月11日	北野日記(天正8年正月26日～慶長17年5月11日)		古記録
47	慶長12年	御造営并御遷宮覚書	(能閑日々記写)	古記録

【筑波大学附属図書館所蔵古記録】

『北野社家日記』〈史料纂集〉(続群書類従完成会)に翻刻。ただし、中世引付の一部は未翻刻で、翻刻作業中である。筑波大学附属図書館 Tulips より閲覧できる。筑波大学附属図書館所蔵となった経緯については、山澤学「北野神社文書の伝来と整理」(『筑波大学附属図書館特別展「学問の神」をささえた人びと』筑波大学附属図書館、二〇〇二年)で述べられているが、昭和22年に東京文理科大学の教官によって鎌倉の古書店にて購入され、東京教育大学、筑波大学と伝えられてきた。本目録は、山澤学氏作成の目録に基づく。近世・近代分も含めて

掲載した。

番号	作成年月日	表題	作成者・差出者	宛 先	形状	翻刻
1	(康暦2年8月晦日)	大政威徳天縁起(天満天神縁起) 〔安楽寺本系,康暦2年南呂晦日 写,宗弁〕			豎	室町時代 物語大成 第10
2	応永2年6月上澁	(聖廟法条和歌)(風謠文共,禪享 相伝)	明魏		豎	
3	応仁3年4月14日	遷宮			豎	
4	嘉吉元年月日	社家条々引付	禪融		豎	日記第7
5	嘉吉元年月日	社家条々抜書	禪融		豎	日記第7
6	嘉吉3年月日	嘉吉三年之記(社家引付,社家条 々引付)[柿渋色表紙あり]	禪融		豎	日記第7
7	享徳年月日	社家条々引付	禪親		豎	日記第7
8	長禄2年正月日	条々引付(～10月)[原表紙に朱 印「天満宮印」あり,禪光奥書あ り]	(禪親)		豎	日記第1
9	長享元年11月日	社家記録	禪豫		豎	日記第7
10	長享2年10月日	引付(～12月)	(禪豫)		豎	日記第1
11	(長享3)年正月日	(引付)(～3月)	(禪豫)		豎	日記第1
12	長享3年7月日	引付(～延徳元年8月)	(禪豫)		豎	日記第1
13	延徳元年11月1日	引付(～12月)	禪豫		豎	日記第1
14	延徳2年正月日	引付	法眼禪豫		豎	日記第2
15	延徳2年2月日	引付(～4月)[寛文13年包紙共, 紙背は12月25日「(松梅院宛浦 井一安書状)」]	法眼禪豫		豎	日記第2
16	延徳2年5月日	引付(～8月)	法眼禪豫		豎	日記第2
17	延徳2年閏8月日	(引付)(～10月)	(禪豫)		豎	日記第2・ 第6補遺2 ・1
18	延徳2年11月日	引付(～12月)[光子補柿渋色表 紙あり]	法眼禪豫		豎	日記第2
19	延徳3年正月日	引付	法眼禪豫		豎	日記第2
20	延徳3年2月日	引付(～4月)	禪豫		豎	日記第2
21	延徳3年5月日	引付(～6月)	禪豫		豎	日記第3
22	延徳3年7月日	引付(～8月)	禪豫		豎	日記第3
23	延徳3年9月日	引付(～11月)	(禪豫)		豎	日記第3
24	延徳4年正月日	引付	法眼禪豫		豎	日記第3
25	延徳4年4月日	(引付)(～5月)	(禪豫)		豎	日記第3
26	延徳4年6月日	(引付)(～明応元年7月)	(禪豫)		豎	日記第3
27	明応元年10月日	引付(～12月)	法眼禪豫		豎	日記第3
28	明応2年正月日	引付(～2月)	(禪豫)		豎	日記第4
29	明応2年3月日	引付(～閏4月)	法眼禪豫		豎	日記第4
30	明応2年7月日	(引付)(～8月)[包紙あり,紙背 「(某書状案)」]	(禪豫)		豎	日記第4
31	明応2年9月日	引付(～11月)	(禪豫)		豎	日記第4
32	明応3年正月日	引付	禪豫		豎	日記第4
33	(明応2年4月)日	(引付)			豎	日記第7
34	明応4年月日	引付	禪慶		豎	日記第7
35	明応9年月日	明応九年記 御手水会之式次第			豎	日記第7
36	(永正5年7月)日	目安申状[柿渋色表紙あり]			豎	日記第7
37	(永正12年6月)日	引付(康正三年丁丑社家条々引 付)			豎	日記第7
38	(永正13)年月日	(引付)			豎	
39	永正14年月日	摂州西宮納帳	禪慶		豎	
40	永正15年月日	(引付)(～永正16年)			豎	
41	永正18年月日	引付	禪光		豎	
42	(永正末)年月日	社礼之内少々抜書	禪光		豎	
43	(永正)年月日	摂津国領所事記(享徳2年12月2 4日～永正6年12月9日文書写,禪 覚の再見記あり)[光子補柿渋色 表紙あり]	(禪予)		豎	
44	永正18年月日	引付	禪光		豎	
45	永正年月日	永正之記(執行事,延徳3年12月2	法印禪慶		豎	日記第7

		9日より[柿渋色表紙あり]				
46	享禄4年月日	披露之事条々			堅	
47	天文元年11月日	引付(～天文2年正月)			堅	
48	天文3年月日	引付	禅光		堅	
49	天文6年月日	執行事[包紙を綴る]	禅光		堅	
50	天文9年月日	天文九年記(山田菅波算用状) [柿渋色表紙あり]	一口		堅	
51	弘治2年月日	(引付)(～弘治3年)			堅	
52	永禄3年月日	(引付)(～永禄4年)[包紙を綴る]			堅	
53	永禄7年月日	(引付)(～永禄9年)			堅	
54	天正11年7月7日	御手洗水支配事			横	
55	(中世)年月日	祝一帖(祝詞)	禅融		堅	
56	(中世)年月日	(社頭諸神事次第)[252の後半部,中欠]			堅	日記第7
57	天正19年閏正月日	日々記(～3月)	禅昌		堅	日記第4
58	天正19年3月日	社家・社務・宮仕引付(～5月)	禅昌		堅	日記第4
59	天正19年7月日	社家・社務・宮仕事(～9月)	禅昌		堅	日記第4
60	文禄3年正月日	社法引付(～2月)[柿渋色表紙あり]	禅昌		堅	日記第5
61	文禄4年正月日	社法引付(～4月)	禅昌		堅	日記第5
62	慶長3年8月日	(引付)(～慶長3年9月)			堅	
63	慶長3年10月日	社家・社務・宮仕引付(～12月)[155の前半]	禅昌		堅	日記第5
64	慶長3年12月日	(社家・社務・宮仕引付)[柿渋色表紙あり,154の後半]	(禅昌)		堅	日記第5
65	慶長4年正月日	(社家ノ引付・竹門ノ引付)(～閏3月)[156の後半]	(禅昌)		堅	日記第5
66	慶長4年正月日	社家ノ引付・竹門ノ引付(～閏3月)[153の前半]	禅昌		堅	日記第5
67	慶長4年7月日	(引付)(～11月)[柿渋色表紙あり]	禅昌		堅	日記第5
68	慶長4年11月日	(引付)(～慶長5年2月)	(禅昌)		堅	日記第5
69	慶長5年2月日	社家条々引付(～3月)	禅昌		堅	日記第5
70	慶長5年4月日	社家引付(～6月)	禅昌		堅	日記第5
71	慶長5年7月日	(引付)(～12月)	禅昌		堅	日記第5
72	慶長6年9月日	(引付)(～12月)	禅昌		堅	日記第6
73	慶長7年正月日	社法引付(～2月)	禅昌		堅	日記第6
74	慶長7年11月日	(引付)(～8年正月)	(禅昌)		堅	日記第6
75	慶長9年正月日	社法引付(～2・4・8・10月)	(禅昌)		堅	日記第6
76	慶長9年12月日	社法引付(～10年2・6・7月)[表紙より第12丁と注記のある1丁共,慶長11年7月引付6丁分同綴]	禅昌		堅	日記第6
77	慶長10年12月日	引付(～11年正・7・12月)	禅昌		堅	日記第6
78	慶長12年2月日	社方引付(～7・8月)	禅昌		堅	
79	慶長12年2月日	社方引付(～7・8月)	禅昌		堅	
80	慶長15年8月日	引付(～16年7月)	禅昌		堅	日記第6
81	慶長16年12月日	(引付)(～17年正・2・3・閏10月)	禅昌		堅	日記第6
82	慶長17年正月日	慶長十七年(引付)(～10月・18年正月)[柿渋色表紙あり,「慶長十七年」「慶長十八年六月小」断簡各1枚共]	禅意		堅	日記第6
83	慶長18年正月日	禅意記(～3月)[柿渋色表紙あり]	(禅意)		堅	日記第6
84	元和2年12月日	(引付)	(禅意)		堅	日記第6
85	元和3年12月日	元和三年 引付(～4年3・閏4月) [柿渋色表紙あり]	禅意		堅	日記第6
86	元和4年5月日	引付(～7月)	禅意		堅	日記第6
87	元和4年7月日	引付(～10月)	禅意		堅	日記第6
88	元和4年11月日	元和四年 引付(～12月)[柿渋色表紙あり,錯簡あり]	禅意		堅	日記第6
89	元和5年2月日	(引付)	(禅意)		堅	日記第6
90	(寛文7年2月21日)	正仮選宮草々記(寛文7年2月21日)			堅	
91	寛文8年10月25日	北野天神宮御修覆御道具請取印帳	御塗師 円阿弥又五郎	松梅院御内 稲波左近	堅	

92	(寛文9年2月4日)	正遷宮神幸之記			堅	
93	寛文11年2月吉日	開眼作法	授与 尚禪	金剛仏子 永精	横半	
94	(寛文)年月日	御神宝御道具請取覚	ちきりや五郎兵衛	松梅院内稲波左近	堅	
95	元禄9年2月日	仮遷宮神幸之記(寛文7年11月21日)			堅	
96	元禄11年3月日	北野宮并末社諸堂御道具新造可被為 成下諸色代付之帳	北野宮神事奉行 松梅院法眼禪党		堅	
97	元禄11年3月日	北野宮并末社諸堂御道具御修復可被為 成下諸色代付之帳	北野宮神事奉行 松梅院法眼禪党		堅	
98	元禄13年4月29日	北野宮正仮遷宮御入用具仕分帳〔控〕	神事奉行 松梅院		堅	
99	元禄13年8月13日	御遷宮御入用代銀渡方帳			堅	
100	元禄13年8月18日	内陣御掃除之記	法眼禪党		堅	
101	元禄13年8月18日	殿中御掃除之記	法眼禪党		堅	
102	元禄13年8月22日	(仮殿遷宮につき日記、～8月24日)			堅	
103	元禄13年12月23日	正殿神幸記	法眼禪党		堅	
104	元禄13年12月日	北野天満宮御神宝目録帳	行事官	北野社 松梅院	堅	
105	元禄14年正月27日	正遷宮覚書	法眼禪党		堅	
106	元禄14年2月9日	正遷宮記〔寛文年中神祇記写〕	法眼禪党		堅	
107	元禄14年3月15日	(諸社神宝につき目録)〔写〕			堅	
108	元禄14年3月25日	正殿遷幸記(元禄14年3月18日)	法眼禪党		堅	
109	元禄14年3月26日	(元禄14年3月14日～15日神輿の件御尋ねにつき覚)	法眼禪党		堅	
110	正徳元年6月28日	漢和勝手句〔票939もあり〕			綴	
111	享保19年12月日	(享保20年仮遷宮記)〔～享保20年〕			堅	
112	元文2年11月日	元禄年中御下行米銭之写〔寺務へ度候控〕	北野宮神事奉行 松梅院		堅	
113	明和5年2月7日	明和度遷宮記(～3月24日)			堅	
114	明和5年3月22日	就仮遷宮潔斎中雑録(3月23日～4月14日)			堅	
115	明和7年9月日	御下行米銭(元文年中下行米銭につき)〔写〕	北野宮神事奉行 松梅院		堅	
116	文化2年2月日	就御尋社格書〔写〕	神事奉行 松梅院	御奉行所	堅	
117	文化4年6月日	(松梅院寺務由緒につき伝奏方へ差出書写)〔230と同内容〕			堅	
118	文化4年6月日	(松梅院寺務由緒につき伝奏方へ差出書写)〔227と同内容〕			堅	
119	文化4年10月吉日	仮遷宮雑録(10月22日～11日)	松梅院 役人		堅	
120	文化4年11月日	当社仮遷宮之記(8月21日～11月晦日)	神殿大預神事奉行 松梅院法印権大僧都禪奏・執事 男 禅垣		堅	
121	文化7年4月日	空殿拝見之事・正遷宮之事(～文化9年7月)〔和田控〕			堅	
122	文化7年4月日	正遷宮留帳 附空殿拝見之事(～文化9年6月)〔北村・河合控〕			堅	
123	文化7年4月日	正殿遷幸之記 上(～文化9年6月17日)〔松梅院〕			堅	
124	文化9年6月18日	正殿遷幸之記 下(～文化9年8月18日)〔松梅院〕	北野宮神事奉行 松梅院法印権大僧都禪奏・執事 嗣子 権律師法橋禅垣		堅	
125	(明治3)午年3月日	(北野社神領6ヶ年高役掛り高につき覚)〔「取立役給米」状1通共〕			綴	
126	(明治3)庚午5月18日	古文書写	評定所		堅	文書(抄録)
127	明治3年5月日	北野社神領并神職性名秩禄簿	北野社務吉見資隆代 稲波左内	用度司	堅	
128	明治3年6月日	御奉納物并神宝品書(北野社)〔控〕			堅	
129	(明治4)辛未2月4日	御布告之写(諸社明細取調につき)	京都府	鴨社 他11社	堅	
130	明治4年8月日	六ヶ年平均物成高取調帳			堅	

131	明治4年9月日	文久元酉年より明治三午年迄拾ヶ年取米一村限厘付帳	北野社 吉見資陳	京都府御庁	縦	
132	明治8年6月日	地所区分図面			綴	
133	明治9年5月20日	元北野社領之内地子免除之外不納取調帳	北野社元社務 吉見資陳	京都府権知事 横村正直	縦	
134	明治9年5月26日	元北野社領之内地子免除之外不納取調帳	北野社元社務 吉見資陳	京都府権知事 横村正直	縦	
135	明治10年5月28日	北野神社朱黒印除地納額歳入歳出取調帳	北野神社旧神官 吉見隆永・稲波親茂	京都府知事 横村正直	縦	
136	明治15年9月15日	官有藪地立竹共拝借願書(東今小路町につき、16年2月14日開届)	上京区第六組東今小路町 吉見隆永、保証人 稲波親茂	京都府知事 北垣国道	縦	
137	辰年10月8日	御神方御道具仕用帳	大升や善右衛門	西田善右衛門・稲波左近	縦	
138	(近世) 年 月 日	(北野社域図)			図	
139	(近世) 年 月 日	(神事作法につき覚)			横半	
140	(近世) 年 月 日	(勅使参詣次第につき覚)			横	
141	(年月日未詳)	宮仕二書置記ノウつし(仮遷宮につき)			縦帳	
142	年 月 日	(瑞垣之大事 他、松梅院)[表紙・裏表紙欠]			折	
143	年 月 日	(糞土之大事 他、松梅院)[表紙・裏表紙欠]			折	
144	年 月 日	(遷宮大事 他)[表紙・裏表紙欠]			折	
145	年 月 日	(松梅院家真言につき覚、禪与・禪けい代記事含む)[表紙・裏表紙欠]			折	
146	年 月 日	諸神新古造社勧請極秘支度之事[表紙・裏表紙欠]			折	

【天理大学附属天理図書館所蔵】

現在は卷子本に仕立てられている。慶長6年正月・2月の引付、表紙には「社法引付」とある。禅昌筆。『北野社家日記』第六に翻刻。

番号	和暦	文書名	形状	差出	刊本
1	慶長6年正月～2月	社法引付	卷子	禅昌	社家日記

【早稲田大学図書館伊地知文庫所蔵北野社松梅院引付】

早稲田大学図書館伊地知文庫所蔵「北野社松梅院引付」(請求番号：文庫 20 - 363)は表紙に「引付 明応五年同四年分少々在之 禅尊(花押)」とあるが、中に「明応四(1495)十一月廿五日御神楽之事」に関する記事から「文亀貳年(1502)御手水神事」までの記事を記し、紙背文書を有する部分もある。

どのような経緯で伊地知鐵男氏が所蔵されるに至ったのか不明だが、中に連歌に関する記事があるため、現筑波大学附属図書館蔵引付などとともに市中に出回った際、伊地知氏が購入したものと思われる。

本引付は岩下紀之「伊地知鐵男文庫蔵『北野松梅院引付』に見える、二、三の記事について」(『連歌史の諸相』汲古書院 1997 年)で一部紹介されるが全体は未翻刻であるので、現在刊行に向けて作業中である。

番号	和暦	文書名	形状	頁数	紙数	差出
1	明応4年11月～文亀2年	引付	冊子	1	42	禅尊

(2) 目代記録

【北野天満宮所蔵目代日記】

『北野天満宮史料 目代日記』に翻刻。目代は曼殊院宮の寺務職で、北野に在住執務した。法体で、荒木田氏(春林坊)が世襲した。明治以降北野天満宮所蔵となる。

番号	和暦	文書名	差出	刊本
1	長享元年2月	北野社諸職補任	法眼盛増(花押)	目代日記
2	長享元年12月	長享元年御前障子一件	盛増(花押)	目代日記
3	長享2年正月1日	長享二年目代盛増日記	目代盛増(花押)	目代日記
4	延徳2年正月1日	延徳二年目代盛増日記	〈北野〉盛増(花押)	目代日記
5	延徳3年正月1日	延徳三年目代盛増日記	〈北野〉目代盛増(花押)	目代日記

6	明応8年正月1日	明応八年目代盛増日記	法眼盛増(花押)	目代日記
7	明応9年正月	明応九年目代盛増日記	〈目代法眼〉盛増	目代日記
8	明応9年7月	明応九年七月北野巷所注文	法眼盛増(花押)	目代日記
9	(文亀元年12月1日)	文亀元年目代盛増日記		目代日記
10	永正2年正月1日	永正二年目代盛増日記	〈目代〉盛増(花押)	目代日記
11	永正6年正月1日	永正六年渡瀬信重日記	〈渡瀬与四郎〉信重(花押)	目代日記
12	永正6年11月	永正六年北野下行方引付	重増(花押)／盛増(花押)目代	目代日記
13	永正7年12月	永正七年十二月目代重増日記		目代日記
14	永正11年	永正十一年より北野社執行職之帳		目代日記
15	永正13年正月1日	永正十三年渡瀬宗重日記	〈渡瀬修理〉宗重(花押)	目代日記
16	大永6年正月	大永六年將軍社参二付諸役一件	重増(花押)	目代日記
17	天文8年12月5日	天文八年北野宮寺棟上遷宮次第	(花押)(花押)／(花押)(花押)／目代秀世(花押)	目代日記
18	天文22年	天文二十二年目代秀世諸色帳	法橋秀世(花押)	目代日記
19	弘治4年正月	弘治四年目代慶世日記	目代慶世(花押)／此後(花押)／(花押)(花押)	目代日記
20	永禄2年正月1日	永禄二年目代慶世日記	〈目代〉慶世(花押)	目代日記
21	永禄3年正月1日	永禄三年目代慶世引付	相模(花押)／目代慶世	目代日記
22	永禄5年正月1日	永禄五年目代慶世引付	目代慶世(花押)	目代日記
23	永禄6年正月1日	永禄六年目代慶世引付	目代慶世(花押)	目代日記
24	永禄8年正月1日	永禄八年目代慶世引付	〈目代〉北野慶世(花押)	目代日記
25	永禄10年正月1日	永禄十年目代慶世引付	北野宮寺目代慶世(花押)	目代日記
26	天正12年正月1日	天正十二年目代昭世引付	〈目代相模〉北野 昭世(花押)	目代日記
27	天正13年5月29日	天正十三年目代昭世引付	〈目代〉昭世(花押)	目代日記
28	天正14年9月7日	天正十四年目代昭世日記	目代(花押)	目代日記
29	天正16年11月25日	天正十六年目代昭世日記	目代昭世	目代日記
30	天正18年12月	天正十八年目代昭世日記	〈目代〉昭世(花押)	目代日記
31	天正19年9月4日	天正十九年北野所領指出帳	北野 目代昭世	目代日記
32	文禄2年正月	文禄二年目代昭世日記	目代昭世	目代日記
33	慶長12年10月28日	慶長十二年目代久世日記	[目代 久世]	目代日記
34	(慶長18年11月15日)	慶長十八年能松一件	昭世(花押)	目代日記
35	(慶長19年)	宮仕入公記録(慶長19年～元和8年)		目代記録

(3) 宮仕記録

【北野天満宮所蔵宮仕記録】

『北野天満宮史料 宮仕記録』に翻刻。宮仕は祠官の下で、神殿の奉仕など雑役に従事し、世襲で法体だった。北野神社社務所編『北野誌』（國學院大學出版部、1909年）によると、明治維新前まで以下の宮仕家があったとする。十川（円観坊）・東十川（梅恭坊）・松原（松栄坊）・神光（神光坊）・味酒（梅椿坊）・上大路（上乘坊）・北大路（俊乗坊）・松向軒（松向軒坊）・柳大路（楊柳坊）・久松（光乗坊）・西久松（一行坊）・佐伯（乗良坊）・梅林（梅林坊）・五十川（寿徳坊）・長生（長生坊）・森川（梅深坊）・南久松（玉泉坊）・東辻（慶延坊）・鳥居（鳥居坊）・北小路（玉林坊）・南大路（祐松坊）・林（林静坊）・玉垣（玉鳳坊）・東五十川（延乗坊）・大路（照孝坊）・小林（林清坊）・梅本（豊春坊）・松園（松園坊）・森口（吉成坊）・八十川（歓楽坊）・西小路（成就坊）・十川（玉庭坊）。

宮仕関係の記録は、元禄16年（1703）に創設された北野学堂文庫に収蔵されていたが、明治5年（1872）に学堂が廃止されたのにもない文庫も消滅し、蔵書は散逸した。記録はその後北野天満宮所蔵となる。

番号	和暦	文書名	刊本
1	慶長元年11月晦日	年行事帳(慶長元年12月～慶長2年11月晦日)	宮仕記録
2	慶長3年11月晦日	年行事帳(慶長3年12月～慶長4年11月晦日)	宮仕記録
3	慶長4年11月晦日	年行事帳(慶長4年12月～慶長5年11月晦日)	宮仕記録
4	慶長6年11月晦日	年行事帳(慶長5年11月晦日～慶長6年11月晦日)	宮仕記録
5	慶長7年11月晦日	年行事帳(慶長6年11月晦日～慶長7年11月晦日)	宮仕記録
6	慶長8年11月晦日	年行事帳(慶長7年11月晦日～慶長8年11月晦日)	宮仕記録
7	慶長8年11月晦日	年行事帳(慶長8年12月4日～慶長9年11月晦日)	宮仕記録
8	慶長9年11月晦日	年行事帳(慶長9年12月16日～慶長10年11月晦日)	宮仕記録
9	慶長10年11月晦日	年行事帳(慶長10年11月晦日～慶長11年11月晦日)	宮仕記録
10	(慶長11年12月1日)	年行事帳(慶長11年12月1日～慶長12年11月晦日)	宮仕記録
11	(慶長12年12月1日)	年行事帳(慶長12年12月1日～慶長13年11月29日)	宮仕記録
12	慶長13年11月29日	年行事帳(慶長13年12月～慶長14年11月29日)	宮仕記録
13	慶長14年11月晦日	年行事帳(慶長14年12月26日～慶長15年11月晦日)	宮仕記録
14	慶長15年11月晦日	年行事帳(慶長15年12月20日～慶長16年11月晦日)	宮仕記録
15	慶長16年11月晦日	年行事帳(慶長16年12月1日～慶長17年11月晦日)	宮仕記録
16	慶長17年11月晦日	年行事帳(慶長17年11月晦日～慶長18年11月晦日)	宮仕記録

(4) 沙汰承仕家旧蔵古記録目代記録

【京都橘大学図書館所蔵北野社沙汰承仕家記録】

京都橘大学図書館所蔵「北野社沙汰承仕家記録」は、北野社の沙汰承仕職を世襲した沙汰承仕家（円観坊十川氏）から流出した文書で、1997 年度に京都橘女子大学（現：京都橘大学）で購入したものである。この記録に関しては、細川涼一「西京散所と北野社」（財団法人奈良人権・部落解放研究所編『日本歴史の中の被差別民』新人物往来社、2001 年）で紹介されており、中世の記録は5点（6冊）で、その他近世の冊子類が多数ある。

番号	和暦	文書名	形状	員数	差出
1		御神事日記	冊子	1	能勝
2	宝徳3年6月4日～文明2年7月27日	能勝古記	冊子	1	能勝
3	文明5年12月25日～明応8年2月25日	御忌日田会米算用紀	模帳	1	能勝／能椿
4		会米算用旧記	模帳	1	能勝／能椿
5	永禄4年3月17日～8月5日	能哲古記 天	冊子	1	能哲
6	永禄4年8月6日～12月晦日	能哲古記 地	冊子	1	能哲
7	永禄5年7月～元亀元年	能哲古記地子錢受納帳	模帳	1	能哲

3. 古文書

(1) 松梅院旧蔵文書

【筑波大学附属図書館所蔵文書】

『北野神社文書 筑波大学所蔵文書(上)』(史料纂集)(続群書類従完成会)に翻刻。ただし、中世文書に関しては断片等若干、近世文書については未翻刻。筑波大学附属図書館 Tulips より閲覧できる。古記録類とともに、昭和 22 年に東京文理科大学の教官によって鎌倉の古書店にて購入され、東京教育大学、筑波大学と伝えられてきた。大部分は松梅院旧蔵と推定されるが、功德院・永琳院・盛輪院・宝成院・妙蔵院などの院家に宛てられた文書も散見される。松梅院はこうした文書も一括して管理していたのだろうか。また西京神人宛の文書の写が伝来することから、文書はひとたび松梅院のところを経由し、そこで写が作成された後、正文は神人に送られらるのだろう。

番号	和暦	文書名	形状	差出	宛書	刊本および番号	備考
1	延喜3年2月25日	安楽寺寺宝由来書写		〈安楽寺住僧〉了海(花押影)		文書1	19号文書
2	建仁2年2月17日	天台座主慈円令旨写		法眼(花押影)	伯耆法眼御房	文書2	『鎌』3-1291
3	(年未詳)10月21日	山城国宣写		筑前守護成(奉)	謹上 伯耆法眼御房	文書3	
4	(年未詳)7月2日	某書下写		(花押影)	伯耆法眼御房	文書4	
5	貞永元年4月25日	北野宮寺政所下文写		小寺主法印	別当権少僧都 法眼和尚位／ 惣目代阿闍梨 伝燈大法師位 ／執行上座法 橋上人位／小 寺主法印	文書5	『鎌』6-4322
6	文永2年5月7日	後嵯峨上皇院宣包紙				文書6	
7	文永2年5月日	散位源某宛行状写		散位源(花押影)		文書7	『鎌』13-9294
8	(文永4年)7月26日	天台座主尊助法親王令旨		法眼(花押)	北野執行法眼御房	文書8	『鎌』13-9743。但し端裏書と端書なし。
9	(文永4年)11月12日	天台座主尊助法親王令旨		法眼榮(奉)	北野執行法眼御房	文書9	『鎌』13-9800
10	(文永5年)8月21日	前太政大臣家西園寺実氏御教書		左衛門少尉頭隆(奉)	謹上 北野執行法眼御房	文書10	『鎌』13-10291
11	(文永5年)8月21日	沙弥行証奉書		沙弥行証(口(奉カ))	執行法眼御房	文書11	『鎌』13-10292
12	(文永6年)3月12日	法眼某書状		法眼玄可(カ)	謹上 北野執行法眼御房	文書12	『鎌』14-10396
13	文永7年7月27日	後嵯峨上皇院宣		権佐(平)棟望(奉)	進上 左衛門督(西園寺実兼)殿	文書13	『鎌』14-10658
14	文永9年9月29日	法橋某奉書		法橋(花押)(奉)	伯耆法眼御房	文書14	『鎌』15-11106
15	文永10年12月27日	散位某行宗書状写		散位行宗	謹上 右馬権頭入道殿	文書15	
16	文永10年12月28日	沙弥親澄奉書写		沙弥親澄	北野執行法眼御房	文書16	
17	建治元年12月22日	北野社執行明慶注進状		執行法橋明慶		文書17	『鎌』16-12180
18	(建治3年)2月17日	天台座主道玄御教書		法眼(花押)(奉)	伯耆法眼御房	文書18	『鎌』17-12668
19	弘安3年9月3日	安楽寺寺宝証文写		〈安楽寺沙門〉智光(花押影)		文書19	1号文書参看
20	弘安7年8月日	大納言律師忠禅袖判買地安堵状		公文法眼(花押)		文書20	端裏に花押半影二箇あり。『鎌』20-15291
21	弘安8年9月24日	龜山上皇院宣案		兵部権大輔(堀川)頭世	謹上 北野別当僧都御房	文書21	本文書、次号文書と一紙に

							記さる。『鎌』2 0-15696
22	弘安10年5月3日	龜山上皇院宣案		皇后宮大進(葉室) 頼藤	謹上 北野別 当僧都御房	文書22	『鎌』21-162 56
23	正応2年6月11日	大進某奉書写		大進(花押影)	北野執行法眼 御房	文書23	
24	正安4年2月20日	後宇多上皇御幸記写				文書24	『北野天満宮 史料古文書』 2
25	嘉元2年4月29日	前大僧都良誉奉書写		前大僧都良誉	謹上 大納言 法印御房	文書25	
26	嘉暦元年8月27日	記録所言上状案		左大史小槻宿禰／ 兵庫頭中原朝臣師 右／左大井藤原朝 臣(清閑寺)資房		文書26	本文書以下 の四点、一連 の案文として 記さる。『鎌』3 8-29592
27	嘉暦3年4月5日	勘解由次官吉田冬長 奉書案		勘解由次官(吉田) 冬長	謹上 右大井 (坊門清忠)宰 相殿	文書27	『鎌』38-295 92
28	嘉暦3年4月9日	藤原氏長者二條道平 宣案		右大井(坊門)清忠	謹上 東林院 法印御房／謹 上 修学坊法 印御房	文書28	『鎌』39-302 23
29	嘉暦3年4月11日	坊門清忠書状案		(坊門)清忠		文書29	『鎌』39-302 24
30	元徳2年11月24日	菅原在良位記写			菅原在良	文書30	
31	建武元年4月9日	後醍醐天皇綸旨写		左衛門佐 花(マ)国	謹上 北野別 当僧正御房	文書31	
32	暦応2年2月18日	光厳上皇院宣		右衛門督(柳原資 明)(花押)	謹上 勘解由 長官(菅原公時) 殿	文書32	
33	暦応3年8月5日	光厳上皇院宣		右衛門督(柳原資 明)(花押)	謹上 北野別 当僧正御房	文書33	
34	貞和2年閏9月21日	室町将軍家御教書		武蔵守(高師直)(花 押)	細川(頼春)兵 庫助殿	文書34	
35	観応2年7月3日	足利直義安堵状		(足利直義)(花押)	本寂上人	文書35	
36	貞治4年7月30日	後光厳天皇綸旨写		右中井(万理小路嗣 房)(花押影)	謹上 北野別 当僧正御房	文書36	
37	貞治4年8月1日	足利義詮御判御教書 写		権大納言(足利義 詮)(花押影)	当社別当僧正 御房	文書37	
38	貞治5年11月24日	足利義詮御判御教書		(足利義詮)(花押)	畠山尾張守(義 深)殿	文書38	
39	応安3年9月18日	後光厳天皇綸旨写		左中井(中御門宣 方)(花押影)	謹上 北野別 当僧正御房	文書39	
40	永和5年2月24日	足利義満寄進状		右近衛大将源朝臣 (足利義満)(花押)		文書40	
41	康暦元年9月20日	斯波義将書状写		左衛門佐(斯波義 将)(花押影)	進上 竹内大 僧都御房	文書41	『古文書』3
42	至徳3年正月28日	足利義満袖判御教書		(足利義満)(花押)		文書42	
43	嘉慶元年9月16日	室町幕府御教書写		左衛門佐(斯波義 将)(花押影)	当宮御師石見 法印御房	文書43	『古文書』4
44	嘉慶元年12月3日	足利義満下知状写		右大臣源朝臣(足利 義満)(花押影)		文書44	『古文書』5
45	嘉慶2年4月5日	足利義満御判御教書		左大臣源朝臣(足利 義満)(花押)		文書45	
46	明德元年5月25日	足利義満御判御教書		従一位源朝臣(足利 義満)(花押)		文書46	
47	明德3年4月16日	細川頼元寄進状		右京大夫(細川)頼 元(花押)	北野法印御房	文書47	
48	明德3年閏10月28 日	足利義満御判御教書		従一位源朝臣(足利 義満)(花押)		文書48	
49	明德4年4月15日	足利義満御判御教書		(足利義満)(花押)	右京大夫(細川 頼元)殿	文書49	
50	明德4年6月25日	丹波守護細川頼元達		(細川頼元)(花押)	小笠原備後守	文書50	

		行状			(成明)殿		
51	明德4年6月27日	丹波守護代小笠原成明遵行状		備後守(小笠原成明)(花押)	小笠原四郎次郎殿	文書51	
52	応永2年2月25日	北野社別当奉行職安堵状		別当阿闍梨僧正(花押)／阿闍梨権大僧都(花押)		文書52	
53	応永5年5月2日	足利義満御判御教書		(足利義満)(花押)	左衛門佐(斯波義重)殿	文書53	
54	応永5年8月22日	仁和寺御室永助法親王令旨		法印(花押)	因幡法眼御房	文書54	
55	応永23年8月25日	足利義持御判御教書写		内大臣源朝臣(足利義持)(花押影)		文書55	
56	応永26年9月12日	足利義持下知状写		従一位源朝臣(足利義持)(花押影)		文書56	『古文書』7
57	応永26年9月14日	室町幕府御教書写		沙弥(細川満元)(花押影)	一色左京大夫(義範)殿	文書57	『古文書』8
58	応永33年2月日	融清服暇日数注進状案		融清(在判)		文書58	
59	応永33年12月30日	田井郷公用算用状案				文書59	
60	永享4年4月26日	足利義教御判御教書		右近衛大將源朝臣(足利義教)(花押)		文書60	
61	永享6年8月10日	足利義教袖判御教書				文書61	
62	永享12年9月21日	足利義教袖判御教書		(足利義教)(花押)		文書62	
63	(年未詳)12月24日	細川勝元書状写		(細川)勝元(花押影)	功德院殿進覧参	文書63	『古文書』68
64	嘉吉4年正月1日	政所殿御祝記案				文書64	
65	長祿2年4月16日	足利義政御判御教書		右近衛大將源朝臣(足利義政)(花押)		文書65	
66	長祿2年4月16日	足利義政御判御教書		右近衛大將源朝臣(足利義政)(花押)		文書66	
67	長祿2年11月6日	室町幕府奉行人連署奉書		散位(飯尾之種)(花押)／下野守(布施貞基)(花押)	松梅院(禪親)	文書67	
68	長祿2年11月25日	足利義政寄進状		内大臣兼右近衛大將源朝臣(足利義政)(花押)		文書68	
69	寛正2年4月19日	足利義政御判御教書		内大臣兼右近衛大將源朝臣(足利義政)(花押)		文書69	
70	寛正2年4月26日	法眼禪親書下		法眼禪親(花押)		文書70	
71	文正元年11月7日	足利義政御判御教書		左大臣源朝臣(足利義政)(花押)		文書71	
72	文正元年11月7日	足利義政御判御教書		左大臣源朝臣(足利義政)(花押)		文書72	
73	文明2年10月11日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(布施)貞基(花押)／(松田)秀興(花押)	当庄地下人中	文書73	
74	文明5年2月	備中守某書下写		備中守(在判)	北野御師	文書74	
75	文明13年9月19日	御若衆御内談算用覚	折紙	祐深(花押)		文書75	
76	文明14年12月18日	足利義政御判御教書		准三宮(足利義政)(花押)		文書76	
77	文明17年5月日	乾六郎左衛門高衛田地沽却状		(乾六郎左衛門)高衛(花押)		文書77	
78	長享元年10月15日	足利義尚袖判御教書		(足利義尚)(花押)		文書78	
79	長享元年閏11月25日	室町幕府奉行人連署奉書		丹後守(松田長秀)(花押)／前加賀守(飯尾清房)(花押)	北野宮寺御師 松梅院(禪予)	文書79	
80	長享2年12月17日	足利義熙御判御教書		内大臣兼右近衛大將源朝臣(足利義熙)(花押)		文書80	
81	(年未詳)12月28日	安岐忠兵衛書状		(安岐忠兵衛)(花押)		文書81	
82	(延徳2年)閏8月19日	室町幕府奉行人松田英致書状	折紙	(松田)英致(花押)	松梅院御房	文書82	
83	延徳2年8月30日	等縁書状		等縁(花押)	松梅院御下	文書83	
84	延徳3年6月日	加賀国福田荘本郷御百姓衛門五郎申状				文書84	

85	延徳3年11月21日	後土御門天皇綸旨写		右中弁(坊城俊名) 〈小川坊城中納言俊名〉	弁法印房	文書85	
86	明応元年12月21日	足利義材御判御教書		参議左近衛權中將 源朝臣(足利義材) (花押)		文書86	
87	明応2年3月27日	室町幕府奉行人連署 奉書		前丹後守(松田長 秀)(花押)／前信濃 守(諏訪貞通)(花押)	松梅院(禅予)	文書87	
88	明応3年12月29日	宝濟資財書上		俊雄(花押)	大納言律師御 房	文書88	
89	明応4年3月6日	後土御門天皇綸旨写		右中弁(中御門宣 秀)(判)	謹上大納言僧 都御房	文書89	
90	明応4年12月24日	足利義高御判御教書		左馬頭源朝臣(足利 義高)(花押)		文書90	
91	明応6年3月10日	足利義高御判御教書		左馬頭源朝臣(足利 義高)(花押)		文書91	
92	明応6年10月27日	香西秀長・重尚連署 請取状		(香西)秀長(花押)／ 重尚(花押)	永琳院(禅慶)	文書92	
93	明応7・8年	江州田井郷納帳	冊子	(永琳院)禅慶		文書93	後欠
94	文亀元年12月7日	後柏原天皇口宣案	宿紙	蔵人左少弁藤原(勸 修寺)尚顯(奉)	大法師禅充	文書94	
95	文亀2年12月13日	足利義澄袖判御教書		参議左近衛中將源 朝臣(足利義澄)		文書95	
96	永正元年7月18日	法印禅慶讓状		法印禅慶(永琳院) (花押)		文書96	
97	(年未詳)2月12日	禅慶書状		(永琳院)禅慶(花押)	伊勢右京亮殿 御宿所	文書97	
98	永正4年3月23日	北野社領代官職補任 状案		〈松梅院雜掌〉俊重	三好筑前守(元 長力)殿	文書98	
99	(永正4年)6月3日	石城友通書状	折紙	(石城)友通(花押)		文書99	
100	永正5年3月8日	足利義澄御判御教書		参議左近衛中將源 朝臣(足利義澄)(花 押)		文書100	
101	永正5年3月11日	室町幕府奉行人連署 奉書		前丹後守(松田長 秀)(花押)／大和守 (飯尾兼連)(花押)	右京兆代	文書101	
102	永正5年7月28日	秀兼奉書写		秀兼(判)	当御門跡雜掌	文書102	
103	永正5年7月28日	竹内門跡領知行目録 写		宗賢(越後法眼) (判)		文書103	
104	永正5年9月9日	丹波守護細川高国内 奉行人奉書	折紙	(斎藤)貞船(花押)	当所名主百姓 中	文書104	
105	(年未詳)11月7日	室町幕府奉行人飯尾 行房書状	折紙	(飯尾)行房(花押)	松梅院(禅光)	文書105	
106	永正6年7月28日	室町幕府奉行人連署 奉書		近江守(飯尾貞運) (花押)／前丹後守 (松田長秀)(花押)	松梅院(禅光)	文書106	
107	永正7年12月17日	室町幕府奉行人連署 奉書		近江守(飯尾貞運)(花 押)／美濃守(斎藤 基雄)(花押)	松梅院(禅光)	文書107	
108	(年未詳)4月10日	勘解由小路在通神興 移徙日時勘文		從二位在通(勘解由 小路)		文書108	
109	(年未詳)後4月20日	山名俊豊書状	切紙	(山名)俊豊(花押)	松梅院来答	文書109	
110	永正13年9月17日	丹波守護細川高国内 奉行人奉書	折紙	(斎藤)貞船(花押)	〈丹州〉船井庄 十一村中	文書110	
111	(年未詳)4月14日	室町幕府奉行人松田 長秀書状	折紙	(松田)長秀(花押)	松梅院	文書111	
112	永正14年後10月17 日	塩田秀氏書下 日		〈塩田)秀氏(花押)	野村興九郎殿 ／福田七郎殿 まいる	文書112	
113	(永正15年)5月15日	室町幕府奉行人奉書	折紙	(飯尾)貞運(花押)	松梅院(禅光)	文書113	裏に「社領方 ノ書物」とあり。
114	永正15年6月26日	室町幕府奉行人連署 奉書	折紙	(飯尾)貞運(花押)／ (斎藤)基雄(花押)	当所名主沙汰 人中	文書114	
115	永正15年6月26日	室町幕府奉行人連署	折紙	(飯尾)貞運(花押)／	細河民部大輔	文書115	

		奉書		(斎藤)基雄(花押)	(弥九郎)殿		
116	永正15年6月26日	室町幕府奉行人連署奉書		前近江守(飯尾貞運)(花押)／美濃守(斎藤)基雄(花押)	松梅院(禪光)	文書116	
117	永正16年6月21日	室町幕府奉行人連署奉書写		(斎藤)基雄(花押影)／(飯尾)貞運(同)	松梅院(禪光)	文書117	『古文書』75
118	永正16年12月日	光園院公慶供米請取状		(光園院)公慶(花押)	松梅院(禪光)	文書118	
119	永正18年3月21日	後柏原天皇綸旨写		右少弁(勸修寺尹豊)(花押影)	松梅院律師御房	文書119	
120	(年未詳)7月6日	細川高国書状写		(細川)高国(花押影)	松梅院禪光御房	文書120	
121	大永3年6月1日	越後法眼宗賢奉書写		〈越後法眼〉宗賢(花押影)	〈当所〉神人中	文書121	『古文書』77
122	大永5年8月25日	丹波守護細川高国内奉行人奉書	折紙	(飯尾)元兼(花押)	松梅院	文書122	
123	大永5年8月25日	丹波守護細川高国内奉行人奉書	折紙	(飯尾)元兼(花押)	内藤弾正忠(国貞)殿／中澤越前守殿／石田四郎兵衛尉殿	文書123	
124	(年未詳)正月16日	道永細川高国書状		道永(細川高国)(花押)	永琳院	文書124	
125	(年未詳)正月16日	道永細川高国書状		道永(細川高国)(花押)	永琳院	文書125	
126	大永6年11月25日	山井景範請取状		〈山井安芸守〉景範(花押)		文書126	
127	(年未詳)8月6日	室町幕府奉行人飯尾貞運書状	折紙	(飯尾)貞運(花押)	松梅院	文書127	
128	(年未詳)11月9日	松梅院禪光書状		(松梅院)禪光(花押)	飯尾(貞運)近江守殿御宿所	文書128	
129	享祿4年7月12日	山城守護代三好元長請文		〈三好筑前守〉元長(花押)	松梅院御雜掌	文書129	
130	(年未詳)12月21日	密乗院雜掌重定書状	折紙	〈密乗院雜掌〉重定(花押)	当社宮仕中	文書130	
131	享祿4年12月29日	北野宮寺宝成院当知行所々目録案				文書131	
132	享祿4年12月29日	北野宮寺宝成院当知行所々目録案		飯尾左衛門大夫在判		文書132	
133	天文5年11月17日	大内氏奉行人連署奉書		(沼間)興国(花押)／(内藤)興盛(花押)	陶兵庫頭(興景)殿／相良中務大丞(武任)殿／岡部安芸權孫(マコ)(持長)殿	文書133	裏に興景・武任・持長の花押あり。
134	天文5年11月19日	大内氏老臣連署書状		(陶)興景(花押)／(相良)武任(花押)／(岡部)持長(花押)	杉伯耆守殿	文書134	
135	天文6年10月17日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(布施)元通(花押)／(飯尾)盛就(花押)	当社供僧中	文書135	
136	天文6年12月29日	足利義晴御判御教書		(足利)義晴(御判)	竹内(党)親王殿	文書136	
137	天文7年11月7日	北野社行事官時久起請文		〈行事官〉時久(花押)	御神事御奉行	文書137	
138	(天文8年)5月26日	北野社家禪專・承舜連署書状案		禪專(花押)／承舜(花押)	松田丹後守(春秀)殿	文書138	
139	天文12年4月20日	室町幕府奉行人連署奉書		前丹後守(松田春秀)(花押)／前信濃守(諏訪長俊)(花押)	松梅院(禪興)	文書139	
140	天文14年8月3日	西塔院執行代折紙写		〈西塔院〉執行代(花押影)	〈北野社神人〉当所麴座中	文書140	『古文書』86
141	天文14年8月13日	飯尾元運奉書写		(飯尾)元運(花押影)	西京神人住人中	文書141	『古文書』91
142	天文14年8月13日	飯尾元運奉書写		(飯尾)元運(花押影)	上京地下中、 〈右同断ころ〉 下京地下中	文書142	『古文書』91・92・93
143	(天文15年)11月27日	六角定頼書状写		(六角)定頼(花押影)	伊勢守(伊勢貞孝)殿進之候	文書143	『古文書』98

144	(年未詳)9月16日	細川晴元書状写		(細川)晴元(花押影)	松梅院	文書144	
145	天文18年4月3日	生嶋吉則書状		(生嶋)吉則(花押)	淨貞入道殿参	文書145	
146	天文18年4月14日	室町幕府奉行人連署奉書		散位(飯尾貞広)(花押)／伊勢守(伊勢貞孝)(花押)	松梅院(禅興)	文書146	
147	(天文カ)	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(諏訪)長俊(花押)		文書147	後欠
148	天文18年6月吉日	禅秀法印置文		禅秀法印(花押)		文書148	
149	天文18年7月日	磯辺重秀カ請文		〈上京一条 請人磯辺神左衛門〉重口(秀カ)(花押)	松梅院御奉行所参	文書149	
150	天文18年10月22日	室町幕府奉行人連署奉書		散位(飯尾貞広)(花押)／左衛門尉(松田頼隆)(花押)	松梅院(禅興)	文書150	
151	天文18年12月26日	大さ仮名消息		大さ	ひかしとの	文書151	
152	天文20年5月22日	室町幕府奉行人連署奉書		大蔵丞(治部光榮)(花押)／散位(飯尾盛就)(花押)	松梅院(禅興)	文書152	
153	(年未詳)8月2日	室町幕府奉行人連署書状		(飯尾)堯連(花押)／(松田)晴秀(花押)		文書153	
154	天文22年後正月18日	大内義長書下		周防介(大内義長)(花押)		文書154	
155	(天文22年カ)5月28日	隆著等連署書状		隆著／賢兼／興滋／鑑実／興盛	城井左馬助殿	文書155	裏に隆著等五名のものと思はるる花押五箇あり。
156	天文22年6月8日	後奈良天皇綸旨写		右中將(庭田重保)(花押影)	盛輪院禅秀法印房	文書156	
157	天文22年7月18日	隆著等連署書状		隆著／賢兼／興滋／鑑実	豊東郡森若狭守殿	文書157	裏に隆著等四名のものと思はるる花押四箇あり。
158	(天文22年カ)11月25日	興盛・武任連署書状		武任(花押)／興盛(花押)	宝成院(明源カ)	文書158	
159	天文24年8月2日	後奈良天皇綸旨写		右中弁(柳原淳光)(花押影)／(柳原一位前権大納言贈准大臣淳光)	妙蔵院禅乗僧都御房	文書159	
160	永禄元年12月27日	貞福院禅正請取状		貞福院禅正(花押)	松梅院政所御坊	文書160	
161	永禄4年7月24日	右近大夫・右兵衛尉連署禁制		右近大夫(花押)／右兵衛尉(花押)		文書161	
162	永禄5年8月5日	松梅院禅興書状案		〈松梅院〉禅興	御ちやちやの御かた	文書162	
163	(年未詳)6月日	松梅院禅興書下		松梅院禅興(花押)	蓬雲軒	文書163	
164	(年未詳)11月2日	松梅院禅興書状		(松梅院)禅興(花押)	竹内三位殿(季治)／進士美作守殿人々御中	文書164	
165	(年未詳)2月28日	松田盛秀書状	折紙	〈松対〉盛秀(花押)	盛輪院御坊中	文書165	
166	永禄7年5月10日	足利義輝御判御教書		参議左近衛権中將源朝臣(足利義輝)(花押)		文書166	
167	永禄7年5月10日	室町幕府奉行人連署奉書		左衛門尉(治部藤通)(花押)／備前守(中澤光俊)(花押)	松梅院(禅興)	文書167	
168	永禄7年5月10日	室町幕府奉行人連署奉書写		左衛門尉(治部藤通)(花押)／備前守(中澤光俊)(花押)	松梅院(禅興)	文書168	本文書前号文書の写し。
169	永禄8年3月24日	某判物草案				文書169	
170	永禄5年～8年	八嶋屋供銭請取状案		八嶋屋		文書170	
171	口〔永カ〕禄9年2月18日	室町幕府奉行人連署奉書		沙弥(花押)／沙弥(飯尾盛就)(花押)	松梅院(禅興)	文書171	元禄年中の付箋あり。
172	永禄12年3月13日	室町幕府奉行人連署		前信濃守(諏訪晴	松梅院(禅興)	文書172	

		奉書		長)(花押)/豊前守 (松田頼長)(花押)			
173	永禄12年4月10日	織田信長朱印状写		(織田)信長御朱印	松梅院(禅興)	文書173	『古文書』127
174	(年未詳)9月3日	室町幕府奉行人連署 奉書	折紙	(飯尾)貞広(花押)/ (飯尾)堯連(花押)	松梅院	文書174	
175	(年未詳)9月27日	伊勢貞考・飯川信堅 連署書状		(飯川)信堅(花押)/ (伊勢)貞孝(花押)	松梅院御坊中	文書175	
176	(年未詳)9月10日	宝成院明源書状		明源(宝成院)(花押)	伊勢守(伊勢貞 孝)殿/飯川山 城守(信堅)殿	文書176	
177	(年未詳)10月17日	村井貞勝等連署書状	折紙	〈嶋田但馬守〉秀満 (花押)/〈村井民部 少輔〉貞勝(花押)	松梅院参御同 宿中	文書177	
178	天正3年11月10日	織田信長朱印状写		御朱印(織田信長)	〈北野〉松梅院	文書178	『古文書』130
179	天正9年9月23日	織田信長朱印状写		御朱印(織田信長)	松梅院(禅興)	文書179	
180	(年未詳)2月26日	織田信長黒印状等写		(織田)信長黒印	松田豊前守(頼 亮)殿	文書180	
181	天正11年5月	慈眼院寄進状案		慈眼院/請人納所		文書181	
182	天正12年9月3日	前田玄以書状写		〈民部卿法印〉(前 田)玄以(花押影)	松梅院	文書182	
183	(年未詳)5月1日	前田玄以書下写		〈民部卿法印〉(前 田)玄以(印)	松梅院役者中	文書183	
184	(年未詳)6月26日	前田玄以書状写		〈民部卿法印〉(前 田)玄以(花押影)	北野役者中	文書184	
185	(年未詳)12月18日	前田玄以書状写		〈民部卿法印〉(前 田)玄以(花押影)	〈北野〉惣中	文書185	
186	天正13年12月24日	北野宮仕等連判状案		能存(在判)/能隆 (在判)/能札(在 判)/能養(在判) /能金(在判)/能 運(在判)/能閑(在 判)/能観(在判) /能徳(在判)/能 前(在判)/能長(在 判)/能林(在判) /能貞(在判)/能 福(在判)/能泉(在 判)/預能弁(在判)	松梅院御雜掌	文書186	
187	(天正16年)6月20日	豊臣秀吉願文写		(豊臣秀吉)(花押影)	北野	文書187	『古文書』135
188	天正17年12月1日	豊臣秀吉朱印状写		御朱印(豊臣秀吉)	〈北野〉社家中	文書188	
189	(年未詳)3月10日	豊臣秀吉朱印状写		御朱印(豊臣秀吉)	〈北野〉惣中	文書189	
190	天正18年5月26日	前田玄以書状写		民部[卿脱カ]法印 (前田)玄以(印)	竹内宮(良愨親 王)御門跡(御 雜掌)	文書190	
191	天正18年9月10日	前田玄以書状	折紙	民部卿法印(前田) 玄以(花押)	松梅院(禅興) 床下	文書191	
192	天正19年9月23日	豊臣秀吉朱印知行目 録写		(豊臣秀吉)御朱印	松梅院(禅永)	文書192	『古文書』141
193	天正20年夏中如意 珠日	某書状				文書193	
194	天正20年7月14日	豊臣秀次願文写		御朱印		文書194	『古文書』142
195	文禄元年12月13日	前田玄以判物写		(前田)玄以(花押影)	西京七保神人 中	文書195	『古文書』145
196	文禄元年12月[10 脱]7日	前田玄以判物写		(前田)玄以(花押影)	西京神人沙汰 人中	文書196	『古文書』146
197	文禄2年5月25日	木食応其願文写		(木食)応真[其]敬白		文書197	『古文書』147
198	文禄3年2月15日	市松請文		市松(略押)	番左衛門尉殿 まいる人々御 中	文書198	
199	文禄5年7月2日	法園寺秀盛書下		法園寺秀盛(花押)	玉温御方ま いる	文書199	
200	(年未詳)11月5日	片桐且元書状	折紙	片市正且元(花押)	松梅院貴報	文書200	
201	(年未詳)12月3日	片桐且元書状	折紙	片市正且元(花押)	松梅院貴報	文書201	
202	(年未詳)12月8日	竹内門跡良愨親王書 状案	折紙	竹内門跡(良愨親 王)	片桐(且元)市 正殿	文書202	

203	(年未詳)2月5日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)法印様御報	文書203	
204	(年未詳)9月20日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳正(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)人々御中	文書204	
205	(年未詳)10月7日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)人々御中	文書205	
206	(年未詳)10月10日	片桐貞隆書状		〈片主膳〉(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)〈人々御中〉	文書206	
207	(年未詳)11月18日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳正(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)法印人々御中	文書207	
208	(年未詳)11月23日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)御返報	文書208	
209	(年未詳)11月28日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)人々御中	文書209	
210	(年未詳)12月3日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)法印御返報	文書210	
211	(年未詳)12月4日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)法印人々御中	文書211	
212	(年未詳)12月9日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳正(片桐)貞隆(花押)	松(禪昌)法印人々御中	文書212	
213	(年未詳)12月10日	片桐貞隆書状	折紙	片主膳正(片桐)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)御返報	文書213	
214	(年未詳)12月13日	片桐貞隆書状	折紙	主膳(片桐)貞隆(花押)	安東平右衛門尉殿／杉原三平殿まいる	文書214	
215	慶長3年仲秋30日	掃除方雜具等送進状	折紙	宝濟記之(花押)		文書215	
216	慶長3年8月17日	豊臣秀吉朱印知行目録写		御朱印(豊臣秀吉)	〈北野〉松梅院	文書216	『古文書』152
217	慶長3年9月18日	前田玄以書状	折紙	徳善院(前田)玄以(花押)	松梅院(禪昌)	文書217	
218	慶長3年12月日	葛西長弘禁制写		葛西太兵衛(長弘)(花押影)		文書218	
219	(年未詳)正月14日	前田玄以書状	折紙	民部卿法印(前田)玄以(花押)	〈北野〉社家中	文書219	
220	(年未詳)5月17日	前田玄以書状	折紙	徳善院(前田)玄以(花押)	松梅院(禪昌)床下	文書220	
221	(年未詳)7月28日	前田玄以書状	折紙	民部卿法印(前田)玄以(花押)	北野惣中	文書221	
222	(年未詳)8月4日	前田玄以書状写		(前田)玄以(花押影)	葛西太兵衛(長弘)殿	文書222	
223	(年未詳)9月2日	前田玄以書状	折紙	徳善院(前田)玄以(黒印))	松梅院(禪昌)御返報	文書223	
224	(年未詳)10月19日	木下吉隆書状	折紙	木下(吉隆)半助(花押)	河原長右衛門殿御宿所	文書224	
225	(年未詳)11月18日	前田玄以・木下吉隆連署書状		〈民部卿法印〉(前田)玄以(花押)／〈木下半助〉吉隆(花押)	寺澤越中守(広政)殿〈人々御中〉	文書225	
226	(年未詳)2月18日	浅野長吉書状	折紙	(浅野)〈浅弾正〉長吉(花押)	松梅院(禪昌)床下	文書226	
227	(年未詳)3月10日	増田長盛・浅野長吉連署書状	折紙	〈増田右衛門尉〉長盛(花押)／〈浅野弾正少弼〉長吉(花押)	〈北野〉松梅院(禪昌)	文書227	
228	慶長5年5月18日	前田玄以書下写		〈徳善院〉(前田)玄以(花押影)	松梅院(禪昌)	文書228	
229	(年未詳)7月5日	増田長盛・浅野長吉連署書状	折紙	〈増田右衛門尉〉長盛(花押)／〈浅野弾正少弼〉長吉(花押)		文書229	
230	慶長9年8月4日	某寺寺内支配状				文書230	
231	慶長9年12月13日	板倉勝重下知状写		伊賀守源朝臣(板倉勝重)(花押影)		文書231	『古文書』171
232	慶長9年12月20日	板倉勝重下知状写		伊賀守源朝臣(板倉勝重)(花押影)		文書232	『古文書』172
233	(慶長12年)5月25日	片桐貞隆書状写		片主膳正(片桐)貞隆(花押影)	松梅院(禪昌)御宿所	文書233	『古文書』176
234	慶長14年12月16日	板倉勝重書下写		(板倉)勝重(花押影)	松梅院(禪昌)	文書234	

235	元和元年7月27日	徳川家康黒印領知目録写		(徳川家康)御黒印	松梅院(禅意)	文書235	
236	元和3年12月2日	板倉勝重書状	折紙	(板倉)勝重(花押)	松梅院(禅意)	文書236	
237	(元和3年12月2日)	板倉勝重書状包紙				文書237	236号の包紙(後補カ)ならん。
238	(元和4年)10月18日	後水尾天皇綸旨写		左少弁(竹屋)光長	謹上 大納言 法印御房	文書238	
239	(年未詳)卯3月21日	板倉勝重下知状	折紙	板伊賀(板倉勝重) (黒印)(印文「勝宝」カ)	〈北野ふくへ町年寄／〈町代〉常道	文書239	
240	(年未詳)10月7日	板倉勝重書状	折紙	〈板伊賀守〉(板倉)勝重(花押)	松梅院(禅意)御報	文書240	
241	(年未詳)10月14日	板倉勝重下知状	折紙	板伊賀(板倉勝重) (黒印)(印文「勝宝」カ)	〈北野領〉庄屋、百性中	文書241	
242	元和5年9月15日	徳川秀忠判物写		御名乗御書判(徳川秀忠)	曼珠(殊)院殿 (良恕法親王)	文書242	
243	寛永8年11月21日	高辻遂長申文		従四位下行少納言 兼侍従菅原朝臣遂長		文書243	
244	寛永18年7月8日	真満院禅知他四院連署定書		真満院(禅知)(花押)／ 〈奉行〉松梅院(禅珍)(花押)／ 徳勝院(禅嘉)(花押)／ 玉松院(禅三)(花押)／ 妙蔵院(禅有)(花押)		文書244	
245	(年未詳)正月5日	源受書状		源受(花押)	盛輪院参	文書245	
246	(年未詳)正月6日	吉田弘理書状	折紙	〈吉田修理亮〉弘理 (花押)	松梅院御同宿中	文書246	
247	(年未詳)正月6日	家広書状	切紙	家広(花押)	〈竹門〉備後守 殿御宿所	文書247	
248	(年未詳)正月16日	信通書状		信通(花押)	永琳院御報	文書248	
249	(年未詳)正月17日	某書状	折紙	□□〔深阿カ〕(花押)	松梅院人々御中	文書249	
250	(年未詳)2月20日	成延書状	切紙	成延(花押)	宝成院御同宿中	文書250	
251	(年未詳)2月22日	通仙院書状	折紙	通仙院(花押)	松梅院様	文書251	
252	(年未詳)2月26日	久留正英書状		(久留)正英(花押)	(松梅院様貴報)	文書252	
253	(年未詳)2月29日	上野信孝書状写		〈上野民部大輔〉信孝判	竹内御門跡(覚 恕親王)出世御中	文書253	
254	(年未詳)戌2月	播州佐用郡大河内村新助立願文	折紙	播州佐世〔用〕郡大河内村新助		文書254	
255	(年未詳)3月4日	吉見頼高書状		(吉見)頼高(花押)	(〈御方様〉山村□□殿)	文書255	
256	(年未詳)3月5日	懷惠庵里村昌琢書状		(里村)昌琢(花押)	(松梅院様人々御中)	文書256	
257	(年未詳)3月5日	渡辺俊重書状		(渡辺)俊重(花押)	波々伯部兵庫 助殿御宿所	文書257	
258	(年未詳)3月6日	渡辺茂書状		(渡辺)茂(花押)	長田与兵衛殿 御返報	文書258	
259	(年未詳)3月14日	郷長書状		〈津筑〉郷長(花押)		文書259	
260	(年未詳)3月14日	行勝書状		行勝		文書260	
261	(年未詳)3月18日	某御教書写		定賢	三川法眼御房	文書261	
262	(年未詳)3月19日	定賢添状写		定賢		文書262	
263	(年未詳)3月23日	嶋田秀郷書下	折紙	〈嶋田弥右衛門〉秀郷(花押)	〈北野領十一村〉当所名主百性中	文書263	
264	(年未詳)午4月14日	松梅院党士代		〈北野〉松梅院	御奉行所	文書264	
265	□3年4月16日	某天皇綸旨写		左少弁(花押影)	□□院法印御	文書265	

					房		
266	(年未詳)4月26日	某書状		□□[富憲カ](花押)	下間上野介(頼 慶カ)殿御宿所	文書266	
267	(年未詳)後4月16日	某書状				文書267	
268	(年未詳)5月23日	某書状				文書268	
269	(年未詳)6月29日	中田久右衛門・三宅 得右衛門連署書状		□成(花押)／□元 (花押)	(松法印様人々 御中)	文書269	
270	(年未詳)7月5日	遠藤正吉書状	折紙	〈遠藤十大夫〉正吉 (花押)	松法印様貴報	文書270	
271	(年未詳)7月12日	金台寺某書状	折紙	〈金台寺〉□(花押)	□□□報	文書271	
272	(年未詳)7月12日	松田政行書状	折紙	松田勝衛門尉政行 (花押)	松梅院御同宿 中	文書272	
273	(年未詳)7月15日	氏勝書状		氏勝(花押)	(松梅院□ [様])	文書273	
274	(年未詳)7月18日	熊木三郎太夫書状		□□(花押)	(松梅院様人々 御中)	文書274	
275	(年未詳)7月18日	某書状		□(花押)	(松法様人々御 中)	文書275	
276	(年未詳)7月29日	三上房光書状	折紙	〈三上大蔵〉房光(花 押)	野田殿御宿所	文書276	
277	(年未詳)8月24日	安藤平左衛門尉書状		□(花押)	(松梅院様御 報)	文書277	
278	(年未詳)8月27日	慶満書状		慶満(花押)	松梅院御同宿 中	文書278	
279	(年未詳)8月30日	斎藤利忠書状	折紙	〈斎藤市右衛門〉利 忠(花押)	松梅院様人々 御中	文書279	
280	(年未詳)9月2日	伊東小左衛門尉書状		(花押)(伊東小左衛 門尉)	(松梅院様貴 報)	文書280	
281	(年未詳)9月5日	斎藤利忠書状		(斎藤)利忠(花押)	(松梅院様人々 御中)	文書281	
282	(年未詳)9月18日	きやく仮名消息	折紙	きやく	はりまとのゝ御 かもしままいる	文書282	
283	(年未詳)9月19日	木下弥二右衛門書状		(花押)(木下弥二右 衛門)	(松梅院様人々 御中)	文書283	
284	(年未詳)9月20日	駒月家治書状	折紙	〈駒月〉家治(花押)	石かき庄／御 名主／御沙汰 人御中	文書284	
285	(年未詳)9月22日	木下弥二右衛門書状		(花押)(木下弥二右 衛門)	(松梅院様人々 御中)	文書285	
286	(年未詳)9月23日	前肥前守顕吉書状		前肥前守顕吉(花 押)	謹上 小畠蔵 人佐殿	文書286	
287	(年未詳)9月28日	塙安弘書状	折紙	(塙)安弘(花押)	松梅院御報	文書287	
288	(年未詳)10月3日	前肥前守顕吉書状		前肥前守顕吉(花 押)	謹上 松梅 院)小畠蔵人殿	文書288	
289	(年未詳)10月3日	塙安弘書状	折紙	(塙)安弘(花押)	松梅院御報	文書289	
290	(年未詳)10月5日	北野社領内野地子銭 指出案		松梅院	一柳勘左衛門 尉(直次)殿	文書290	
291	(年未詳)10月9日	森頼吉書状	折紙	〈森駿河守〉頼吉(花 押)	松梅院まいる 御報	文書291	
292	(年未詳)10月14日	杉興宣書状		(杉)興宣(花押)	松梅院参御同 宿御中	文書292	
293	(年未詳)10月16日	常親・良治連署書状		常親(花押)、良治(花 押)	せいくわんいん 殿くまいる	文書293	
294	(年未詳)10月28日	某書状		□□(花押)	(松梅院様)	文書294	
295	(年未詳)11月6日	良治書状	切紙	良治(花押)	陽林院参御同 宿中	文書295	
296	(年未詳)11月7日	某書状		□□		文書296	
297	(年未詳)11月13日	某書状		□珍(花押)	(松梅院様御 報)	文書297	
298	(年未詳)11月28日	小畠元性書状	折紙	〈小畠入道〉元性(花 押)	中西殿	文書298	
299	(年未詳)11月28日	藤堂出雲守書状	折紙	〈藤堂出雲〉高□[清 カ](花押)	松梅院	文書299	
300	(年未詳)11月28日	徳雄書状		徳雄(花押)	兵部卿法印御	文書300	

					房		
301	(年未詳)12月2日	親景書状		親景(花押)		文書301	
302	(年未詳)12月4日	藤堂市之進書状	折紙	藤堂市之進言(力)良 (花押)	松梅院様まい る	文書302	
303	(年未詳)12月13日	某施行状案		(花押影)	吉見参川守殿	文書303	
304	(年未詳)閏極月14	某書状		(花押)	(松梅院様)	文書304	
305	(年未詳)臘月21日	某書状		□□		文書305	
306	(年未詳)12月25日	某書状	折紙	〈□□〉□□(花押)	少如御返報	文書306	
307	(年未詳)12月26日	某書状		□□	備前□□□御 房	文書307	
308	(年未詳)□月11日	不珍書状	折紙	不珍(花押)		文書308	折裏の上部 四・五程ほど 切断。
309	(年月日未詳)	某書状断簡				文書309	
310	(年月日未詳)	兼載書状		兼載(花押)		文書310	
311	(年月日未詳)	社頭外陣御編三間注 文案				文書311	
312	(年月日未詳)	某天皇繪旨写		権右中弁 花押(ママ)	□□僧正御房	文書312	
313	(年月日未詳)	北野社領目録写				文書313	
314	(年月日未詳)	天瑞寺殿追善噺金書 上				文書314	後欠
315	(年月日未詳)	節分呪ひの事				文書315	
316	(年月日未詳)	玉仲宗琇偈引		關提子宗琇拝和		文書316	
317	(年月日未詳)	某書状				文書317	後欠
318	(年月日未詳)	某書状				文書318	
319	(年月日未詳)	某書状				文書319	
320	(年月日未詳)	某書状				文書320	後欠
321	(年月日未詳)	某書状				文書321	
322	(年月日未詳)	孫五郎等連署書状		□右衛門尉(花押) ／孫五郎(花押)	片岡松斎様／ 三寺伝口様	文書322	
323	(年月日未詳)	某書状				文書323	後欠
324	(年月日未詳)	某書状				文書324	後欠

【京都大学総合博物館所蔵北野松梅院文書】

松梅院旧蔵。京都大学に所蔵されるようになった経緯は不明である。近世文書も多数含む。

番号	和暦	文書名	形状	法量	差出	宛書	文書番号
1	天正19年9月16日	北野境内家地子指出 目録案	続紙	29.5×67.8	松梅院(花押影)	民部卿法印様／ 長束大蔵様五奉 行中	1
2	(年未詳)11月10日	隆著・隆慰連名書状	堅紙	29.8×45.6	隆著(花押)／隆慰 (花押)	宝成院御同宿御 中	2
3	文明17年6月17日	禅椿讓状案	堅紙	27.6×39.1	権少僧都禅椿	(阿賀丸)	3
4	天正17年9月3日	北野宮神人御供米注 進状案写	続紙	27.0×70.5	禅永(花押)		4
5	文禄元年12月16日	北野宮神人御供米注 進状	堅紙	27.3×40.6		松梅院様参	5
6	天正20年11月22日	御さうぢ銭請取状	切紙	27.3×20.6	やしき(黒印)	松梅院様	6
7	天正13年10月3日	北野神領御供米指出 案	堅紙	26.7×41.2		松浦殿	7
8	(年未詳)4月25日	預能薫書状	折紙	25.3×39.6	預能薫(花押)	盛輪院参御坊中	8
9	天正12年9月9日	九月九日御節供日記	折紙	24.2×40.7	能徳		11
10	天正14年正月1日	三旬御供日記	折紙	24.8×40.0	能徳		12
11	天文19年12月日	目代秀世誓状写	堅紙	28.0×41.0	目代秀世判	小畠対馬守殿御 宿所	65
12	天正10年2月25日	支配状	小切 紙	12.3×13.3	のうとく	いなはとの	69
13	天正20年11月5日	公事請取状	切紙	27.0×14.6	能徳(花押)	小畠左衛門尉殿	70
14	天正20年11月5日	公事請取状	切紙	26.8×15.5	能善(花押)	小畠左衛門尉殿 まいる	71
15	天正9年2月25日	支配状	小切 紙	12.3×17.1	のうとく	いなはとの	72
16	年月日未詳	支配状	小切 紙	16.7×16.0	能徳	稲葉殿	73

17	天正11年2月日	支配状	切紙	20.5×26.1	能徳		74
18	年月日未詳	誓状	切紙	15.0×33.0			75
19	年月日未詳	覚書断簡	切紙	26.7×17.0			76
20	(年未詳)10月6日	北野社領西京中御供米指出	堅紙	26.7×39.7		一柳勘左衛門尉殿	77
21	天正12年2月25日	支配状写	堅紙	26.7×39.5	能徳判／目代口世判		78
22	天正17年12月1日	豊臣秀吉朱印状写	堅紙	27.8×39.5	(朱印影)	北野社家中	175

【東京大学史料編纂所所蔵北野松梅院文書】

請求番号：貴 37-1。4 巻。昭和 2 年 3 月に購入される。所蔵史料目録データベースで文書を閲覧することができ、暦応 4 年 7 月 21 日久遠寿量院寺務法印良重目安については翻刻ならびに解題が掲載される。下記目録では中世部分のみ。

番号	和暦	文書名	形状	紙数	差出	宛書	備考
1	暦応4年7月21日	久遠寿量院寺務法印良重目安	続紙	2	(久遠寿量院寺務法印代良重)		DBに解題
2	年月日不詳	記録断簡	断簡	1			永正七年三月の文書写あり
3	天正18年6月5日	天翁北野社頭門建立日時勘文	堅紙	1	天翁勘之		
4	年未詳6月28日	青木秀政書状	折紙	1	羽記秀政(花押)	松梅院玉床下	
5	年月日不詳	某書状	続紙	1			後欠
6	年月日不詳	某書状	堅紙	1			
7	年未詳11月27日	長谷川守知書状	堅紙	1	守知(花押)	口法印様人々御中	
8	年未詳正月23日	花山院定熙書状	宿紙	1	定熙	持明院三位殿	

【東京大学史料編纂所所蔵北野宮寺政所下文】

請求番号：0071-21。1 通。所蔵史料目録データベースで文書を閲覧することができ、解題も載せる。北野社常燈料所能登国菅原庄の領有をめぐり発給された下文で、松梅院に相伝されたと推測される。

番号	和暦	文書名	形状	差出	宛書	備考
1	貞永元年4月25日	北野宮寺政所下文	卷子	別当権少僧都法眼和尚位(花押)／惣目代阿闍梨伝灯大法師位(花押)／執行上座法橋上人位(花押)／権上座法橋上人位(花押)／権上座法眼和尚位(花押)／権上座大法師(花押)／権上座法橋上人位(花押)／権上座大法師(花押)／権上座法橋上人位(花押)4名／権上座大法師(花押)3名／権上座法橋上人位(花押)2名／権上座大法師(花押)8名／寺主大法師(花押)／権寺主大法師(花押)2名／都維那法師(花押)／権都維那法師(花押)8名／小寺主法師	法橋上人位有禪	DBに解題あり

【東京大学史料編纂所所蔵北野宮寺政所補任并転任状】

請求番号：0671-4。18 通。所蔵史料目録データベースで文書を閲覧することができる。松梅院に相伝されたと推測される。

番号	和暦	文書名	形状	差出	宛書
1	長享2年2月16日	北野宮寺政所補任状	堅紙	別当伝灯大法師位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／権上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／権寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／権都維那法師(花押)／小寺主法師	大法師禪尊
2	長享2年2月16日	北野宮寺政所転任状	堅紙	別当伝灯大法師位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／権上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／権寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／権都維那法師(花押)／小寺主法師	権寺主禪尊
3	延徳3年12月29日	北野宮寺政所補任状案	堅紙	別当伝灯大法師位(花押影)／執行上座法印大和尚位／権上座法印大和尚位／寺主大法師／権寺主大法師／都維那法師／権都維那法師／小寺主法師	法印禪慶
4	延徳4年2月11日	北野宮寺政所補任状	堅紙	別当伝灯大法師位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／権上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／権寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／権都維那法師(花押)／小寺主法師	大法師禪光
5	延徳4年2月11日	北野宮寺政所転任状	堅紙	別当伝灯大法師位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／権上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／権寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／権都維那法師(花押)／小寺主法師	権寺主禪光

		任状		押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師(花押)／小寺主法師	
6	天文19年5月26日	北野宮寺政所補任状	豎紙	別当(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	大法師明存
7	天文19年5月26日	北野宮寺政所轉任状	豎紙	別当(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	權寺主明存
8	弘治3年正月11日	北野宮寺政所補任状	豎紙	別当(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師(花押)／小寺主法師	大法師禪永
9	弘治3年正月11日	北野宮寺政所轉任状	豎紙	別当(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師(花押)／小寺主法師	權都維那禪永
10	永祿7年12月28日	北野宮寺政所轉任状	豎紙	別当(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	權都維那明存
11	天正17年卯月28日	北野宮寺政所補任状	豎紙	別当(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	權上座禪永
12	慶長3年12月28日	北野宮寺政所補任状	豎紙	別当無品親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	大法師禪意
13	慶長12年9月13日	北野宮寺政所補任状	豎紙	寺務入道親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	大法師禪養
14	慶長12年12月8日	北野宮寺政所轉任状	豎紙	寺務入道親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	權都維那禪養
15	慶長12年12月8日	北野宮寺政所轉任状	豎紙	寺務入道親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	權寺主禪養
16	慶長19年8月2日	北野宮寺政所補任状	豎紙	寺務四品親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	上座禪意
17	慶長19年8月2日	北野宮寺政所補任状	豎紙	寺務四品親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	上座禪意
18	慶長19年8月2日	北野宮寺政所補任状	豎紙	寺務四品親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	上座禪意

【早稲田大学図書館所蔵荻野研究室収集文書】

『早稲田大学所蔵荻野研究室収集文書』(吉川弘文館、1980年)に翻刻あり。『早稲田大学蔵資料影印叢書国書篇 14 古文書集 1』(早稲田大学出版部、1985年)および『早稲田大学蔵資料影印叢書国書篇 32 近世古文書集』(早稲田大学出版部、1991年)に影印が掲載される。永正15年12月14日北野宮寺政所補任状は『弘文莊待賈古書目』36(1969)に掲載される。

番号	和暦	文書名	形状	紙数	法量	差出	宛書	刊本・番号	備考
1	永正15年12月14日	北野宮寺政所補任状	豎紙	1	35.2×5 2.3	別当大僧都法印大和尚位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師(花押)／小寺主法師	(禪堯)	荻野研究室所蔵文書 226	「天満宮印」
2	天文4年12月21日	北野宮寺政所補任状	豎紙	1	35.0×4 7.0	別当二品大僧正大和尚位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師	(禪興)	227	「天満宮印」

						(花押)／小寺主法師			
3	慶長12年12月8日	北野宮寺政所補任状	豎紙	1	33.3×4 8.1	寺務入道親王(花押)／執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師	(禪春)	228	「天満宮印」
4	宝徳4年7月16日	北野社秘決	切紙	2	16.3×8 7.5	法眼禪春(花押)	(禪親)	229	
5	文正元年12月日	聖廟実名次第	切紙	2	16.5×1 14.7	禪豫(花押)／永琳院法眼禪慶(花押)		230	紙背に延徳4年7月7日禪豫付記あり
6	文明3年12月13日	天神十号之秘号	切紙	1	16.5×1 15.3			231	
7	天正7年9月17日	天神十号秘決		3	15.7×8 7.8		菅原氏清子	232	
8	年月日未詳	北野宮寺諸神次第	切紙	5	11.8×6 7.7			233	
9	延宝2年7月7日	御手洗水次第	折本		18.0×2 64.0	尚禪		234	

【京都府立総合博物館所蔵文書北野文書】

請求番号：中館古 006。『弘文荘待賈古書目』39 (1971) に「北野天満宮文書 五通一卷」永正・天文・慶長・寛永 とあるものと同一と思われる。

番号	和暦	文書名	形状	法量	差出	宛書	備考
1	永正15年12月24日	北野宮寺政所補任状	豎紙	33.3×4 8.7	別当大僧都法印大和尚位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師(花押)／小寺主法師		全5通が1巻に成巻される
2	天文18年6月5日	北野宮寺政所補任状	豎紙	35.5×4 5.7	別当(花押)執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師		
3	慶長12年9月10日	北野宮寺政所補任状	豎紙	35.0×4 8.1	寺務入道親王(花押)執行上座法印大和尚位／權上座法印大和尚位／寺主大法師／權寺主大法師／都維那法師／權都維那法師／小寺主法師		
4	年月日未詳	北野社領割付之目録	豎紙	37.6×6 5.8			
5	寛永13年11月6日	社法等覚	豎紙	37.6×5 2.4		板倉周防守様	

【奥野高廣氏所蔵文書】

東京大学史料編纂所に写真帳あり。請求番号：6171.36-28。『弘文荘待賈古書目』44 (1973) に掲載される天文4年12月21日北野宮寺政所補任状と同一。

番号	和暦	文書名	形状	員数	紙数	差出	宛書	備考
1	天文4年12月21日	北野宮寺政所補任状	豎紙	1	1	別当二品大僧正大和尚位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師(花押)／小寺主法師	大法師禪興	
2	天文14年12月18日	室町幕府奉行人奉書写	豎紙	1	1	前丹後守／掃部助	北野外会所	会所領城州東松崎郷田地三町を相国寺小補軒が買得したため松千代訴訟

【柏木探一郎氏所蔵文書】

東京大学史料編纂所に影写本あり。中村孝也『家康の族葉』(講談社、1965年)に翻刻され、解説が施される。松梅院旧蔵。原本については未確認。本文書の所在については跡部信氏より教示を得た。

番号	和暦	文書名	員数	紙数	差出	宛書	刊本	備考
1	(慶長12年力月未詳)26日	ちやあ書状	1	1	ちやあ	松梅院さままいる申給へ	中村孝也『家康の族葉』	東大史料影写本

【谷村順藏氏所蔵文書】

豊太閣展覧会編『豊公餘韻』(白木屋計畫部、1939年)に「淀君消息^{傳紙}」として写真が掲載される。松梅院旧蔵。原本については未確認。本文書の所在については跡部信氏より教示を得た。

番号	和暦	文書名	形状	紙数	差出	宛書	刊本
1	(慶長12年力月未詳)28日	ちやあ消息	折紙	1	ちやあ	松梅院さま	豊太閣展覧会編『豊公餘韻』

【思文閣待賈文書】

北野宮寺大工職関係文書1巻は、『思文閣古書資料目録』199(2006年)に掲載される大工職相論に関する文書。宮津市個人蔵であったが、現在は思文閣で保有。

番号	和暦	文書名	形状	差出	宛書	備考
1	年未詳6月20日	前田玄以書状	折紙	〈民部卿法印〉玄以(花押)	一柳監物様御返報	全点1巻に軸装
2	年未詳4月晦日	芳桂書状	堅紙	芳桂(花押)	内田左京亮殿御返報	
3	年未詳7月30日	常興・高久連署書状	堅紙	常興(花押)／高久(花押)	高木殿	
4	永禄2年11月23日	室町幕府奉行人連署奉書案	堅紙	対馬守平朝臣在判／備前守源朝臣在判		
5	永禄4年10月19日	室町幕府奉行人連署奉書案	堅紙	対馬守平朝臣在判／左衛門尉藤原在判		
6	永禄6年9月12日	曼殊院覚恕法親王袖判令旨案	堅紙	栄時在判	新五郎殿	
7	天文19年12月5日	石成友通書状案	折紙	石成主税助友通在判	牧雲斎御返報	
8	慶長15年8月18日	脇坂安治判物	折紙	安治(花押)	吉務少五とのへ	
9	天文17年12月30日	室町幕府奉行人連署奉書案	折紙	盛秀在判／貞広在判	松梅院	
10	天文18年2月17日	神森国継讓状写	続紙	〈木子武神森出雲崎〉従五位下武継	神森鶴千世国継殿	

(2) 徳勝院旧蔵文書

【大阪城天守閣所蔵徳勝院文書】

徳勝院旧蔵。京都の古書肆を通じ、1957年に大阪城天守閣で購入。徳勝院は祠官三家のうちの一つ。

番号	和暦	文書名	形状	員数	紙数	差出	宛書
1	(慶長19年)7月8日	片桐且元自筆書状	折紙	1	1	片市正旦元(花押)	徳勝院人々御中

【国立歴史民俗博物館所蔵田中穰氏旧蔵北野神社旧蔵文書】

3巻41点。『田中穰氏旧蔵典籍古文書目録[古文書・記録類編]』(国立歴史民俗博物館資料目録[1])(国立歴史民俗博物館、2000年)に目録が掲載されるほか、国立歴史民俗博物館データベース「館蔵中世古文書」で文書を閲覧できる。宛所には光藺院・妙蔵院・真満院などが見られ、原蔵を確定できないが、松梅院以外の祠官に伝来した文書であろう。

番	和暦	文書名	形状	法量	差出	宛書	番号
1	永禄6年10月25日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	23.7×37.1	晴長(花押)／盛就(花押)	当社宮仕能音	186-1
2	永正10年12月9日	某地差図	堅紙	28.9×40.0	国次		186-1
3	(年月日未詳)	某屋地差図	堅紙	25.4×27.6			186-1
4	(年月日未詳)	某地差図	堅紙	28.8×16.5			186-1
5	応仁元年12月25日	北野社大僧正御教書(坊地安堵状)	堅紙	26.3×40.8	法眼	光藺院忠慶大僧都御房	186-1
6	永正3年12月30日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	25.4×32.4	大和守(花押)／豊	妙蔵院	186-2

					前守(花押)		
7	(年未詳)10月17日	金(力)寿丸奉書	堅紙	27.6×43.4	金(力)寿丸	政所代御房	186-2
8	(年未詳)6月21日	助円奉書	堅紙	27.7×45.5	助円 奉	政所法印御房	186-2
9	天文9年7月13日	室町幕府奉行人奉書	折紙	24.4×34.4	為清(花押)		186-2
10	(年未詳)4月5日	運智奉書	堅紙	27.0×44.7	運智	政所法印御房	186-2
11	天文22年6月22日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	27.4×44.7	散位(花押)／左衛門尉(花押)	感輪院	186-2
12	天文22年6月22日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	26.9×36.0	藤弘(花押)／藤頼(花押)	当所百姓中	186-2
13	天文24年8月28日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	24.2×43.6	散位(花押)／左衛門尉(花押)	妙蔵院禪乘法印	186-2
14	永祿4年10月15日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	23.6×32.0	晴長(花押)／光俊(花押)	当社一社中	186-2
15	天文17年9月10日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	27.2×43.6	平(花押)／左衛門尉(花押)	北野宮寺祠官妙蔵院禪乘	186-2
16	天文9年7月13日	室町幕府奉行人(飯尾為清)奉書	折紙	24.5×39.8	為清(花押)	一宮修理亮殿	186-2
17	天文9年6月26日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	26.5×37.3	盛就(花押)／貞兼(花押)	当地百姓中	186-2
18	天文21年12月24日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	26.6×35.0	主計允(花押)／掃部助(花押)	当社法華堂供僧中	186-2
19	天文21年12月24日	室町幕府奉行人連署奉書案	堅紙	23.5×28.1	光秀 在判／光俊 在判	北野宮寺法華堂分当地百姓中	186-2
20	永祿5年12月28日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	23.6×29.3	信濃守(花押)／對馬守(花押)	真満院禪乘法印御房	186-2
21	永祿5年12月28日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	26.9×33.1	晴長(花押)／盛就(花押)	当地百姓中	186-2
22	天文16年4月18日	密乗院禪養神秘伝授状	堅紙	26.2×38.9	密乗院禪養(花押)	中將殿	186-3
23	永祿3年8月	百姓中惣代次郎左衛門正治請文	堅紙	26.2×39.3	加州小泉保相河百姓中惣代次郎左衛門正治(花押)	北野御本所／妙蔵院殿／御雜掌	186-3
24	永祿3年8月	加州小泉保次郎左衛門正治相河分百姓名注進状	堅紙	26.3×41.8	加州小泉保次郎左衛門正治(花押)	北野御本所妙蔵院殿 御雜掌参	186-3
25	永祿3年8月	次郎左衛門正治請文	堅紙	26.2×39.6	加州小泉保百姓中惣代次郎左衛門正治(花押)	北野御本所 妙蔵院殿 御雜掌参	186-3
26	永祿6年12月12日	服部久清・田村吉茂請文	堅紙	25.8×41.8	服部与五郎久清(花押)／田村彦太郎吉茂(花押)	北野妙蔵院殿御雜掌参	186-3
27	(年未詳)12月7日	神部宗正書状	折紙	23.8×36.4	神部四朗左衛門入道 宗正(花押)	布川次郎左衛門入道殿御宿所	186-3
28	(永祿元年)9月22日	神部四朗次郎書状		24.4×39.1	保長神部四朗次郎(略押)	妙蔵院殿様 まいる	186-3
29	(天文24年)9月27日	神部宗正書状	折紙	24.1×39.3	神部宗正(花押)	妙蔵院参 御同宿御中	186-3
30	永祿元年8月5日	神部宗正書状	堅紙	26.2×39.4	木辻之保長神部四朗左衛門入道 宗正(花押)	中將殿様まいる	186-3
31	天正4年6月9日	春松院禪口譲渡目録	堅紙	26.2×37.0	春松院禪口(花押)	中將殿 参	186-3
32	大永5年6月26日	神勝注禪養自専年貢・借米等目録	堅紙	26.2×85.5	禪勝(花押)		186-3
33	(年未詳)9月11日	佐久良治玖(力)書状	折紙	23.9×36.2	佐久良治玖(力)(花押)	北村殿御宿所	186-3
34	長祿2年6月9日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	26.4×42.8	民部丞(花押)／散位(花押)	真満院	186-3
35	明応9年11月10日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	26.6×38.2	下総守(花押)／散位(花押)	権律師明祇御房	186-3
36	文亀元年8月7日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	26.4×37.4	行房(花押)／頼房(花押)	祠官公慶御房	186-3
37	文亀元年8月7日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	26.3×35.0	散位(花押)／下総守(花押)	当社祠官光園院公慶御房	186-3
38	天文19年10月26日	光園院周慶証状	堅紙	26.3×39.0	光園院 周慶(花押)	妙蔵院中將口	186-3
39	永祿2年5月25日	室町幕府奉行人連署奉書	堅紙	26.2×37.1	信濃守(花押)／散位(花押)	北野宮寺祠官真満院禪宗法印	186-3

40	(年未詳)11月17日	竹下秀勝書状	折紙	23.9×42.6	秀勝(花押)	進作 御宿所	186-3
41	永禄2年正月26日	口成院明在(力)書状	堅紙	22.8×37.5	口成院 明在(力) (花押)	妙蔵院人々御中	186-3

(3) 光乗坊旧蔵文書

【東京大学史料編纂所所蔵北野光乗坊文書】

請求番号：貴 40-1. 507 点。所蔵史料目録データベースで文書名等確認できる。大正 15 年 8 月に購入された。内容：1-335 文書、336-435 記録、436-486 書冊之部、487-508 連歌懷紙并同写、302 欠番。下記目録では中世部分のみ。

番号	和暦	文書名	形状	紙数	差出	宛書	文書番号	備考
1	永享2年4月日	預法橋随円以下十名連署定書	続紙	6	成一(花押)／随性(花押)／随慶(花押)／随任(花押)／成円(花押)／慶全(花押)／随教(花押)／随承(花押)／随住(花押)／預法橋随円(花押)		1	
2	文亀3年卯月日	預成胤以下二十五名連署定書写	堅紙	1	預成胤／能喜／成充／随永／能玉／能久／成乗／能珎／能祐／成悦／能延／能意／能椿／能達／能榮／随興／成孝／能薫／随琳／随貞／随長／随口／随見／岩夜叉丸／能秀		2	紙背に署名
3	永正元年6月日	預随永以下十名連署定書写	続紙	3	随琳判／能玉同／能喜同／随琳同／随興同／能椿同／成乗同／成悦同／成胤判／預随永判		3	慶長18年に写したものを寛永5年に写す
4	永正元年6月日	預随永以下十名連署定書写	続紙	2			4	第1枚の端書に「慶安五年五月十二日能円へ勅詔之事」とあり
5	弘治2年9月26日	林貞広奉書地子免除状	堅紙	1	林隼人佐貞広(花押)	能伝参	5	
6	弘治3年9月9日	能乗能菊連署定書	堅紙	1	能乗(花押)／能菊(花押)		6	
7	(永禄6年)正月11日	菊亭家雜掌光衡書状写	折紙	1	菊亭家雜掌光衡在判	能哲御屋	7	
8	永禄10年正月14日	預能堯以下十三名連署定書	続紙	2	能観(花押)／能特(花押)／能安(花押)／能長(花押)／能林(花押)／能貞(花押)／能福(花押)／能重(花押)／能哲(花押)／随泉(花押)／能育(花押)／能弁(花押)／預能堯(花押)		8	
9	天正3年3月16日	預能堯以下十四名連署起請文	堅紙	1	預能堯(花押)／能林(花押)／松満(花押)／能弁(花押)／能長(花押)／随泉(花押)／能安(花押)／能重(花押)／能特(花押)／能福(花押)／能閑(花押)／能貞(花押)／能運(花押)／能欽(花押)		9	
10	天正5年12月5日	預能弁以下十四名連署定書		2	預能弁(花押)／随泉(花押)／能重(花押)／能福(花押)／能貞(花押)／能林(花押)／能長(花押)／能安／能特(花押)／能観(花押)／能閑(花押)／能運(花押)／能欽(花押)／能養(花押)		10	
11	天正9年霜月4日	随泉書状	切紙	1	随泉(花押)	衆中へ参	11	
12	天正12年9月9日	預能弁以下十六名連署定書	堅紙	1	能弁(花押)／能長(花押)／能運(花押)／随泉(花押)／能安(花押)／能余(花押)／能福(花押)／能徳(花押)／能養(花押)／能貞(花押)／能観(花押)／能札(花押)／能林(花押)／能閑(花押)／能隆(花押)／能存(花押)		12	
13	天正12年11月15日	能存能安連署書状案	折紙	1	能存／能安	小畠新平殿参	13	
14	天正12年11月15日	能存能安連署書状案	折紙	1	能存／能安	小畠新平殿参	14	

15	(天正12年) 11月22日	能乘能福連署書 状案	切紙	1	能乘／能福	□□□□ 殿	15	
16	(天正12年) 12月24日	能隆能觀連署書 状案	折紙	1	能隆／能觀	小島新平 殿	16	
17	天正13年3 月10日	豊臣秀吉禁制写	折紙	1	御判(豊臣秀吉)	北野宮寺	17	
18	天正16年6 月22日	預能弁以下連署 状案	豎紙	1	能松／能徳／能作／能安／能存／能長／ 能隆／能林／能札／能貞／能養／能福／ 能金／能泉／能運／能閑／預能弁／能觀		18	
19	天正18年5 月6日	能庭書状	豎紙	1	能庭(花押)	各御中	19	
20	天正18年11 月20日	預能弁以下二十 名連署定書	豎紙	1	随伝(花押)／能安(花押)／能札(花押)／ 能源(花押)／能長(花押)／能養(花押)／ 能舜／能林(花押)／能金(花押)／能松 (花押)／能庭(花押)／能運(花押)／能作 (花押)／能福(花押)／能閑／能存(花押) ／能泉(花押)／能觀(花押)／能隆(花押) ／預能弁(花押)		20	
21	天正19年閏 正月朔日	預能弁以下三十 名連署起請文	続紙	5	能庭(花押)／随泉(花押)／預能弁(花押) ／鶴世丸／干福丸／干菊丸／梵叉丸／干 熊丸／梅夜叉丸／寅満丸／龍楠丸／猿松 丸／福松丸／竹干代丸／小根口丸／弁松 丸／随伝(花押)／能門(花押)／能源(花 押)／能舜(花押)／能松(花押)／能作(花 押)／能存(花押)／能隆(花押)／能札(花 押)／能養(花押)／能金(花押)／能運(花 押)／能閑(花押)／能觀(花押)／能安(花 押)／能長(花押)／能林(花押)		21	北野宮寺牛 玉宝印
22	天正19年6 月14日	目代昭世以下二 十名連署定書案	続紙	2	随伝(花押)／能門(花押)／能源(花押)／ 能舜／能松／能作(花押)／能存(花押)／ 能隆(花押)／能札(花押)／能養(花押)／ 能金(花押)／能運(花押)／能閑		22	
23	天正19年9 月23日	豊臣秀吉領知宛 行状写	折紙	1	朱印(豊臣秀吉)	宮仕	23	
24	天正20年2 月10日	預能弁以下十七 名連署請状案	豎紙	1	預能弁／能存／随泉／能作／能林／能松 ／能長／能舜／能觀／随伝／能閑／竹松 ／能運／能金／能養／能札／能隆	民部卿法 印様御奉 行衆	24	
25	慶長2年4 月2日	宮仕定書案					25	閱覧不可
26	慶長8年11 月28日	宮仕連署定書断 簡	豎紙	1	能舜(花押)／□□(花押)		26	
27	慶長8年11 月晦日	養命坊舜善以下 四名連署書状	切紙	1	養命坊舜善(花押)／目代昭世(花押)／喜 祐(花押)／清墨(花押)		27	
28	慶長8年12 月18日	宮仕中言上書案	豎紙	1	宮仕中	伊賀守様 御奉行	28	
29	慶長8年12 月19日	宮仕中連署状案	豎紙	1	各連判	竹内御門 跡様御内 春覚法印 御坊／加 田備後殿	29	
30	慶長8年12 月19日	能卯能閑連署言 上書案	豎紙	1	能卯判／能閑判	春覚法印 御坊／加 田備後殿 參	30	
31	慶長8年12 月19日	能卯能閑連署書 状	豎紙	1	能卯(花押)／能閑(花押)	傍輩御中	31	
32	慶長8年12 月19日	能卯能閑連署書 状案	豎紙	1	能卯／能閑	傍輩	32	
33	慶長8年12 月24日	能卯証文	豎紙	1	能卯	竹内御門 跡様御内 春覚坊	33	
34	慶長12年11 月29日	年行事能円以下 三名連署書案	豎紙	1	年行事能円／随伝／能口	目代丹後 衆殿	34	
35	慶長12年12 月26日	預能長以下三十 二名連署定書	続紙	5	能意(花押)／能与(花押)／能甫(花押)／ 能秀(花押)／能益(花押)／能琢(花押)／ 能念(花押)／能卯(花押)／能專(花押)／		35	

					能光(花押)／能探(花押)／能範(花押)／ 能円(花押)／能頓(花押)／能盛(花押)／ 能三(花押)／能満(花押)／能伯(花押)／ 能伝(花押)／能門(花押)／能源(花押)／ 能舜(花押)／能松(花押)／能作(花押)／ 能存(花押)／能隆／能札(花押)／能養 (花押)／能金(花押)／能運(花押)／能閑 (花押)／預能長法橋(花押)			
36	慶長12年12月26日	預能長以下三十二名連署定書写	続紙	5	能意／能与／能甫／能秀／能益／能琢／ 能年／能卯／能專／能光／能探／能範／ 能円／能頓／能盛／能三／能満／能伯／ 能伝／能門／能源／能舜／能松／能作／ 能存／能隆／能札／能養／能金／能運／ 能閑／預能長法橋		36	
37	慶長13年8月晦日	能通以下連署定書	続紙	3	能通(花押)以下欠		37	
38	慶長17年正月2日	預能閑以下六名連署書案	堅紙	1	預能閑(花押)／能運(花押)／能金(花押)／ 能札(花押)／能存(花押)／能作(花押)		38	紙背あり
39	慶長18年2月29日	松梅院証文写(明応年中神事記録)					39	閲覧不可
40	慶長18年2月29日	松梅院証文写(明応年中神事記録)		1	松梅院法印判	加筑後殿 岡治部殿	40	

【東京大学史料編纂所蔵北野光乗坊文書】

請求番号：貴 40-5. 78 点。所蔵史料目録データベースで文書名等確認できる。

番号	和暦	文書名	形状	紙数	差出	宛書	文書番号	備考
1	嘉吉4年正月朔日	政所祝事覚書	堅紙	1			1	
2	長享元年9月23日	室町幕府奉行人連署奉書案	堅紙	1	前加賀守在判／散位在判／丹後守在判	北野宮寺祠官御中	2	
3	長享2年4月2日	室町幕府奉行人連署奉書案	堅紙	1	丹後守在判／前加賀守在判	北野宮寺祠官中	3	
4	長享2年4月2日	室町幕府奉行人連署奉書案	堅紙	1	丹後守在判／前加賀守在判	北野宮寺御師松梅院	4	
5	(年不明)後4月11日	則秀書状	折紙	1	則秀(花押)	宮仕中	5	室町時代
6	(年不明)3月21日	村井貞勝書状	折紙	1	村井貞勝(花押)	北野聖廟社人中	6	天正2-9年の間
7	天正8年10月11日	八島座敷次第書	続紙	2			7	
8	(天正15年)12月10日	豊臣家奉行松田政行書状	折紙	1	松勝右政行(花押)	能閑／能舞／御返報	8.1	
9	天正15年臘月	豊臣家奉行前田玄以奉書	折紙	1	玄以(花押)	宮仕中	8.2	
10	天正15年臘月	豊臣家奉行前田玄以奉書写	折紙	1	玄以(花押影)		8.3	
11	天正15年	天正十五年能閑私記	袋綴	9			9	
12	天正17年8月24日	三口越前守政盛書状	折紙	1	三越前守政盛(花押)	能札老御返報	10	
13	天正17年12月朔日	北野社家境内地子免除状	折紙	1		北野社家中	11	
14	天正18年2月26日	能松証文	堅紙	1	能松(花押)	宮仕中各参	12	
15	(文禄元年頃力)3月3日	能閑書状	堅紙	1	能閑(花押)	竹内御門跡様御内岡本治部口	13	前欠
16	(文禄元年頃力)辰8月27日	能閑覚書写	堅紙	1	能閑(花押)	目代殿	14	
17	(文禄元年頃力)12月10日	能札能長連署状	折紙	1	能札(花押)／能長(花押)	能閑坊	15	
18	(文禄元年頃力)辰12月14日	北野宮仕一老能閑言上書	続紙	3	能閑(花押)	北野寺務様御内西池長介殿	16	
19	慶長12年7月21日	片桐且元板倉勝重連署下知状	堅紙	1	板倉伊賀守勝重(花押)／片桐市正且元	加田備後殿	17	18と接続

				(花押)			
20	(年不明)10月1日	松寿丸奉書	堅紙	1	松寿丸	政所御房	18 17と接続
21	慶長12年9月10日	青松院跡目披露 覚書写	堅紙	1			19

【大阪城天守閣所蔵北野光乗坊文書】

光乗坊旧蔵。京都の古書肆を通じ、1966年に大阪城天守閣で購入。1巻3通

番号	和暦	文書名	形状	紙数	差出	宛書	備考
1	江戸初期	初尾料覚	続紙	3			3通は軸装される。紙継目に「北野宮寺神明町光乗坊印」あり
2	(天正19年)8月3日	増田長盛等五名連署状	折紙	1	増田右衛門尉長盛(花押)／小出播磨守秀政(花押)／寺沢越中守弘正(花押)／石川伊賀守光重(花押)／伊藤加賀守秀盛(花押)	北野社人中	
3	(天正19年)8月3日	増田長盛等五名連署状案	折紙	1	増田右衛門尉長盛花押／小出播磨守秀政花押／寺沢越中守弘正花押／石川伊賀守光重花押／伊藤加賀守秀盛花押	北野社人中	

(4) 沙汰承仕家旧蔵文書

【京都橘大学図書館所蔵北野社宮仕沙汰承仕家文書】

京都橘大学図書館所蔵「北野社宮仕沙汰承仕家文書」は、北野社の宮仕・沙汰承仕職を世襲した円観坊十川氏から流出した文書で、1995年度に京都橘女子大学（現：京都橘大学）で購入したものである。33点。中世・近世の補任状等に関しては、細川涼一「中世の北野社と宮仕沙汰承仕家—京都橘女子大学所蔵「北野社宮仕沙汰承仕家文書」の補任状から—」（京都橘女子大学女性歴史文化研究所編『家と女性の社会史』日本エディタースクール出版部、1998年）に翻刻され、解説が施されている。

番号	和暦	文書名	形状	員数	紙数	差出	宛書	刊本および番号
1	正応2年6月19日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	松夜叉丸	『家と女性の社会史』1
2	正応4年6月17日	山城国北野畠預所某下文	堅紙	1	1	預所(花押)	虎松丸	2
3	正和2年6月14日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	能徳法師	3
4	文安元年11月14日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	梅夜叉磨	4
5	文明15年3月11日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	千夜叉丸	5
6	文明18年3月10日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	鶴夜叉丸	6
7	天文6年9月27日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	千満磨	7
8	天文8年2月8日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	乙寿磨	8
9	天文22年4月9日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	能信大徳	9
10	永禄11年12月27日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	能特法師	10
11	天正5年12月9日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	梅満丸	11
12	文禄元年12月16日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	能松	12
13	慶長3年11月15日	北野宮寺政所補任状	堅紙	1	1	北野宮寺政所	岩松磨	13

(5) 一保社旧蔵文書

【北野天満宮所蔵文書】

『北野天満宮史料 古文書』（北野天満宮）に翻刻。現在北野天満宮所蔵となっている古文書の多くは明治5年に一之保社より北野神社に移管された文書である。西京神人宛の文書は一之保社で保管していた。北野天満宮所蔵文書は、その他松梅院所蔵の文書、北野社に伝来した文書、明治維新後北野神社に寄進された文書などからなる。本目録ではそれらを一括して掲載した。

番号	和暦	文書名	形状	差出	宛書	刊本および番号	備考
1	建長7年5月7日	尼れんほう譲状		あま(尼)れんほう(花押)		古文書1	
2	正安4年2月20日	後宇多上皇御幸記				古文書2	
3	康暦元年9月20日	斯波義将書状		(斯波)左衛門佐義将(花押)	進上 竹内大僧都御房	古文書3	

4	嘉慶元年9月16日	室町幕府御教書		左衛門佐(斯波義将)(花押)	当宮御師石見法印御房	古文書4	
5	嘉慶元年12月3日	足利義満下知状		左大臣源朝臣(足利義満)(花押)		古文書5	
6	応永23年11月10日	法印禪順讓状写		法印禪順		古文書6	
7	応永26年9月12日	足利義持下知状		従一位源朝臣(足利義持)		古文書7	
8	応永26年9月14日	室町幕府御教書		沙弥(細川満元)(花押)	一色左京大夫(義範)殿	古文書8	
9	応永26年9月28日	一色義範遵行状		(一色義範)(花押)	氏家越前守殿	古文書9	
10	応永26年9月29日	祐光請文	折紙	祐光(花押)／町人かうあみ(略押)		古文書10	
11	(応永26年)9月29日	和泉請文	折紙	いつミ(和泉)(花押)／町人せいあミ(略押)／道高(略押)		古文書11	
12	応永26年9月29日	めう請文	折紙	めう(略押)／く町人之ゆふうかた(略押)／ちやうや(略押)		古文書12	
13	応永26年9月29日	祐光請文	折紙	祐光(花押)／町人なく候		古文書13	
14	応永26年9月29日	五太夫請文	折紙	五太夫(略押)／ほりやのさゑもん(左衛門)三郎(略押)		古文書14	
15	応永26年9月29日	れうゆう請文	折紙	れうゆう(略押)／くしろかねや)そうあミ(略押)／くならや)ちんあミ(略押)		古文書15	
16	応永26年10月1日	春阿請文	折紙	春阿(花押)／くちやう人)とうあミ(略押)／大郎三郎(花押)／せん阿ミ(花押)		古文書16	
17	(応永26年)10月1日	五とうし請文	折紙	五とうし(略押)／ちやう人ゑもん(衛門)九郎(略押)		古文書17	
18	応永26年10月1日	長阿請文	折紙	長阿(花押)／けんあ(略押)		古文書18	
19	応永26年10月1日	かね請文	折紙	かね(花押)／けんあ(略押)		古文書19	
20	応永26年10月2日	玄心請文	折紙	玄口(心カ)(花押)／官人(略押)		古文書20	
21	応永26年10月2日	道支請文	折紙	道口(支カ)(花押)／町人衛門五郎(花押)		古文書21	
22	(応永26年)10月2日	次郎兵衛請文	折紙	次郎兵衛(花押)／ちやう(町)の人さへもん(左衛門)四郎(花押)		古文書22	
23	応永26年10月2日	酒屋某請文	折紙	さかや(花押)／ちやう(町)せんあミ(略押)		古文書23	
24	応永26年10月2日	栄賢請文	折紙	栄賢(花押)／くちやう(町)人)ひここし(略押)		古文書24	
25	応永26年10月3日	光重請文	折紙	光重(略押)／くちやう(町)人)めうせん(略押)／れんかく(略押)		古文書25	
26	応永26年10月3日	讃岐請文	折紙	さぬき(讃岐)(花押)／町人ひやうへ(兵衛)次郎(略押)		古文書26	
27	応永26年10月3日	隆重請文	折紙	隆重(花押)／ちやう(町)人さこの(左近)次郎(略押)		古文書27	
28	応永26年10月3日	良覚請文	折紙	良覚(花押)／く町)衛門太郎(略押)／馬三郎(略押)		古文書28	
29	応永26年10月6日	文重請文	折紙	文重(花押)		古文書29	
30	(応永26年)10月6日	ゑんもんし請文	折紙	ゑんもんし(略押)／ちやうにん(町人)ひこ(略押)		古文書30	
31	応永26年10月8日	尊円請文	折紙	尊円(花押)／たうえい(花押)		古文書31	
32	応永26年10月9日	せんあ請文	折紙	くきたくしけ(北櫛笥)のさかやにしのつら)せんあ(略押)／くちやう人)しやうせん(略押)		古文書32	
33	応永26年10	弥三郎請文	折	弥三郎(花押)		古文書33	

	月9日		紙			
34	応永26年10月9日	上野請文	折紙	上野(花押)		古文書34
35	応永26年10月9日	まこ次郎請文	折紙	まこ二郎(略押)		古文書35
36	応永26年10月9日	武蔵請文	折紙	むさし(武蔵)(花押)		古文書36
37	応永26年10月9日	酒屋信種請文	折紙	〈さかや〉信種(花押)／〈ちやう人〉けんハ(玄蕃)(花押)		古文書37
38	(応永26年)10月14日	重善請文	折紙	重善(花押)		古文書38
39	(応永26年)10月21日	仙阿請文	折紙	仙阿(花押)／又太郎(略押)／心(花押)／六郎二郎(花押)		古文書39
40	(応永26年)10月23日	ふくしやう請文	折紙	ふくしやう坊(略押)		古文書40
41	(応永26年)10月23日	正林請文	折紙	正林(花押)		古文書41
42	応永26年10月23日	三郎請文	折紙	〈在所せんほん(千本)の〉三郎(花押)／ちやう(町)人(略押)		古文書42
43	(応永26年)10月23日	大進請文	折紙	大進(花押)		古文書43
44	(応永26年)10月23日	円蔵請文	折紙	円蔵(略押)		古文書44
45	(応永26年)10月23日	武蔵請文	折紙	むさし(武蔵・真清)(花押)		古文書45
46	応永26年10月24日	越前請文	折紙	〈むしやのこうち(武者小路)むろまち(室町)きたのつらさか屋〉ゑちせん(越前)(花押)／けうゑん(略押)		古文書46
47	応永26年10月24日	土蔵某請文	折紙	〈在所者武者小路町〉北頼土蔵(花押)		古文書47
48	応永26年10月24日	美濃請文	折紙	ミの(美濃)(花押)		古文書48
49	応永26年10月26日	竹請文	折紙	竹(花押)／〈町人〉まゝ(略押)		古文書49
50	応永26年10月26日	大貳請文	折紙	大貳(花押)		古文書50
51	応永26年10月26日	酒屋某請文	折紙	てんほうりん(転法輪)きやうこく(京極)にしものつらのさかや(酒屋)(花押)		古文書51
52	応永26年10月日	孫三郎請文	折紙	〈町人〉孫三郎(花押)／源四郎(花押)		古文書52
53	(応永26年)11月7日	上総請文	折紙	上総(花押)		古文書53
54	(応永26年)11月15日	卿請文	折紙	卿(花押)		古文書54
55	(応永26年)月不詳4日	全芝請文	折紙	全芝(花押)		古文書55
56	(応永26年)月不詳7日	出口ゑん請文	折紙	出口ゑん(略押)		古文書56
57	応永26年月不詳8日	某請文	折紙	口郎二郎(花押)		古文書57
58	(応永26年)口月23日	いよ請文	折紙	いよ(花押)		古文書58
59	(応永26年)	左門請文	折紙	左門(花押)		古文書59
60	(応永26年)	宗円請文	折紙	宗円(花押)／〈ちやう(町)人〉才二郎(略押)／九郎五郎(略押)		古文書60
61	(応永26年)	美濃請文	折紙	〈いへぬし(家主)〉ミの(美濃)(略押)／〈ちやう(町)人〉ほんゑみ(略押)／けん五郎(略押)		古文書61
62	応永32年11	酒屋交名				古文書62

	月10日						
63	正長元年9月18日	室町幕府御教書		沙弥(畠山満家)(花押)		古文書63	
64	永享3年12月日	北野宮寺祈禱帳		前執行法印禪慶之		古文書64	元禄16年8月7日書写
65	嘉吉2年12月27日	室町幕府御教書		沙弥(畠山持国)(花押)		古文書65	
66	文明元年7月5日	勝蔵坊胤禪請文案		〈勝蔵坊〉胤禪在判	松梅院御坊中	古文書66	
67	文明元年7月6日	宗珠書状案	折紙	宗珠 判	〈北野〉能勝御坊進之	古文書67	
68	年未詳12月24日	細川勝元書状		(細川)勝元(花押)	功德院殿進覧候	古文書68	
69	延徳2年7月11日	大座神人福松丸起請文		〈大座神人〉福松丸(略押)		古文書69	
70	延徳2年7月11日	大座神人福松丸・和久里頼武請文		〈大座神人〉福松丸／〈和久里〉頼武(花押)	御奉行まいる	古文書70	
71	明応2年7月6日	目代盛増請文		〈目代〉盛増(花押)	小島殿	古文書71	
72	年未詳12月17日	目代盛増書状		〈目代〉盛増(花押)	明主院御坊中 進上	古文書72	
73	年月日未詳	卜占文	断簡			古文書73	永正7年12月日目代重増日記紙背
74	年月日未詳	某書状				古文書73-1	永正7年12月日目代重増日記紙背
75	年未詳12月16日	渡瀬信重書状		(渡瀬)信重(花押)		古文書73-2	永正7年12月日目代重増日記紙背
76	年月日未詳	某書状案				古文書73-3	永正7年12月日目代重増日記紙背
77	年未詳12月17日	渡瀬信重書状		信重(花押)		古文書73-4	永正7年12月日目代重増日記紙背
78	年月日未詳	買物注文				古文書73-5	永正7年12月日目代重増日記紙背
79	永正10年12月29日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(飯尾)貞運(花押)／(松田)長秀(花押)	松梅院	古文書74	
80	永正16年6月21日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(斎藤)基雄(花押)／(飯尾)貞運(花押)	松梅院	古文書75	
81	大永2年8月23日	松寿丸書状案		松寿丸	松梅院 御坊	古文書76	
82	大永3年6月1日	越後法眼宗賢奉書		〈越後法眼〉宗賢(花押)	〈当所〉神人中	古文書77	
83	大永3年11月18日	北野宮寺政所補任状		別当大僧正法印大和尚位(花押)／執行上座法印大和尚位(花押)／權上座法印大和尚位(花押)／寺主大法師(花押)／權寺主大法師(花押)／都維那法師(花押)／權都維那法師(花押)／小寺主法師	權都維那禪乗	古文書78	
84	大永4年10月5日	室町幕府奉行人連署奉書案		右衛門尉〈在判〉／散位〈在判〉	目代重増	古文書79	
85	享禄3年5月10日	室町幕府奉行人連署奉書		彈正忠(飯尾)堯連(花押)／信濃守(諏訪)長俊(花押)		古文書80	
86	天文3年閏正月22日	内野等重書目録		〈松梅院雜掌〉嘉意(花押)		古文書81	
87	天文6年6月	北野社遷宮内殿御飾等注進状		〈行事官左史生〉時久		古文書82	
88	天文6年12月28日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(松田)盛秀(花押)／(松田)晴秀(花押)	〈北野宮寺〉一社中	古文書83	
89	(天文7カ)10	安見宗房書状		〈安見与兵衛尉〉宗房(花押)	治部卿殿御同宿中	古文書84	

	月7日						
90	天文10年12月15日	後奈良天皇女房奉書			御ちちの御中申給へかしく	古文書85	
91	天文14年8月3日	西塔院執行代折紙	折紙	(西塔院)執行代(花押)	〈北野社神人〉当所麴座中	古文書86	
92	天文14年8月7日	室町幕府奉行人連署奉書		前丹後守(松田晴秀)(花押)／沙弥(治部貞兼)(花押)	〈北野宮神人〉西京諸住等中	古文書87	
93	天文14年8月7日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(松田)晴秀(花押)／宗安(治部貞兼)(花押)	〈上下〉酒屋土倉中	古文書88	
94	天文14年8月7日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(松田)晴秀(花押)／宗安(治部貞兼)	洛外酒屋土倉中	古文書89	
95	天文14年8月13日	飯尾元運奉書	折紙	(飯尾)元運(花押)	〈上京〉地下中	古文書90	
96	天文14年8月13日	飯尾元運奉書	折紙	(飯尾)元運(花押)	西京神人住人中	古文書91	
97	天文14年8月13日	飯尾元運奉書	折紙	(飯尾)元運(花押)	〈下京〉地下中	古文書92	
98	天文14年8月13日	飯尾元運奉書	折紙	(飯尾)元運(花押)	〈洛外〉地下中	古文書93	
99	天文14年8月25日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(諏訪)晴長(花押)／(飯尾)貞広(花押)	西京麴師中	古文書94	
100	(天文14年)9月3日	西塔院執行代折紙	折紙	〈西塔院〉執行代(花押)	〈西京諸住〉麴座中	古文書95	
101	天文14年10月1日	山門三院執行代等連署折紙	折紙	別当代(花押)／西執行代(花押)／執行代(花押)	〈北野神人〉麴座中	古文書96	
102	(天文15年3月)	細川元常奉書		〈はりまのかみ〉もと常	真光院殿まいる申給へ	古文書97	
103	(天文15年)11月27日	六角定頼書状	折紙	(六角)定頼(花押)	伊勢守(伊勢貞孝)殿進之候	古文書98	
104	(天文15年)11月29日	六角定頼書状	折紙	(六角)定頼(花押)	伊勢守(伊勢貞孝)殿進之候	古文書99	
105	(天文15年)	某書状				古文書100	
106	天文17年8月4日	室町幕府奉行人連署奉書		散位(飯尾貞広)(花押)／左衛門尉(松田頼隆)(花押)	松梅院松千代殿	古文書101	
107	天文18年4月3日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(飯尾)貞広(花押)／(松田)頼隆(花押)	西田与三殿	古文書102	
108	天文18年5月8日	成光判物	折紙	成光(花押)	八条大内殿	古文書103	
109	天文19年12月日	目代秀世請文		〈目代〉秀世(花押)	小島対馬守殿御宿所	古文書104	
110	天文20年8月1日	巻数着到注文				古文書105	
111	弘治3年2月9日	西京惣田衆中規式		〈糴谷宗悦入道〉重春(花押)／〈同新介〉重辰(花押)／〈山西左衛門大夫〉近喜(花押)／〈徳符(カ)右近丞〉貞維(花押)／〈神部四郎衛門尉〉家次(花押)／〈本郷次郎左衛門尉〉正久(花押)		古文書106	
112	弘治3年2月16日	盛輪院禪秀議状		〈盛輪院〉禪秀(花押)	松千代丸殿	古文書107	
113	年月日未詳	禪乗謀略条々事書				古文書108	後欠
114	(永禄元年カ)1月25日	松永久秀書状	折紙	〈松永弾正忠〉久秀(花押)	松梅院御返報	古文書109	
115	永禄2年12月23日	室町幕府奉行人連署奉書		(松田)盛秀(花押)／(諏訪)晴長(花押)	松梅院	古文書110	
116	永禄3年正月26日	宝成院明存証文		〈宝成院〉明存(花押)	妙善院人々御中	古文書111	
117	永禄4年9月2日	室町幕府奉行人連署奉書		丹後守(松田藤弘)(花押)／散位(松田頼隆)(花押)	〈北野宮社人〉西京諸住等中	古文書112	
118	永禄4年9月2日	室町幕府奉行人連署奉書	折紙	(松田)藤弘(花押)／(松田)頼隆(花押)	〈上下〉酒屋土倉中	古文書113	
119	(永禄4年カ)9月16日	竹内季治書状案		(竹内)秀治	伊勢守(伊勢貞孝)殿	古文書114	
120	(永禄5年)12月	能哲書状案	折紙	能哲(在判)	目代殿	古文書115	

	月15日		紙				
121	(永禄5年)12月15日	能哲書状案	折紙	能哲<在判>	目代殿	古文書116	
122	年未詳7月2日	市基右書状案	折紙	市基右<判>	目代殿御返報	古文書117	
123	年未詳11月8日	市基右書状案	折紙	市基右<判>	目代殿御報	古文書118	
124	年未詳7月4日	和久壱岐守書状		<和久壱岐守>口口(花押)	松梅院まいる御返報	古文書119	
125	年未詳7月6日	七夕神事秘文覚		(花押)(曼殊院良恕)		古文書120	
126	年未詳12月26日	但馬守定明書状	折紙	<大但馬>定明(花押)	小対馬守(小島正隆)殿御宿所	古文書121	
127	年未詳12月27日	石成友通書状	折紙	<石成主税助>友通(花押)	松梅院まいる御返報	古文書122	
128	年未詳12月27日	小島正隆書状	折紙	<小島対馬>正隆(花押)	長田越中入道殿御宿所	古文書123	
129	年月日未詳	女房奉書			こな殿/ミまさか殿申給へ	古文書124	
130	年月日未詳	女房奉書			かちこの御中ニまいらせ候へく候	古文書125	
131	年月日未詳	女房奉書			かんろし(甘露寺)殿へまいる / たけ口申給へ	古文書126	
132	永禄12年4月10日	織田信長朱印状		(織田)信長(朱印)	松梅院	古文書127	
133	(天正2年)	正親町天皇女房奉書			新大納言とのへ	古文書128	
134	天正3年3月	織田信長朱印状写	折紙	信長<朱印>	雑掌中	古文書129	
135	天正3年11月10日	織田信長朱印状	折紙	(織田信長)(朱印)	<北野>松梅院	古文書130	
136	天正7年正月	西京惣使日記				古文書131	
137	年未詳4月4日	嶋田秀満・村井貞勝連署状	折紙	<嶋田但馬守>秀満(花押)/<村井民部少輔>貞勝(花押)	<北野>松梅院人々御中	古文書132	
138	年月日未詳	処方箋断簡	断簡			古文書133-1	天正12年目代昭世引付紙背
139	年未詳12月29日	黒川宗治書状	折紙	<黒川次右衛門尉>宗治(花押)	田布勢殿/参/御返報	古文書133-2	天正12年目代昭世引付紙背
140	年未詳4月9日	比斎宗切書状	折紙	<比斎>宗切(花押)	田新/口(玉力)床下	古文書133-3	天正12年目代昭世引付紙背
141	年未詳6月2日	河宗次書状	折紙	<河助>宗次(花押)	田新/まいる御返報	古文書133-4	天正12年目代昭世引付紙背
142	年未詳12月27日	尚長書状	折紙	<大一兵>尚長(花押)	田新様/人々御中	古文書133-5	天正12年目代昭世引付紙背
143	年未詳12月19日	吉書状		吉(花押)	田新さま/御返事	古文書133-6	天正12年目代昭世引付紙背
144	年月日未詳	某書状	折紙		た口(新力)さまへ/まいる	古文書133-7	天正12年目代昭世引付紙背
145	年未詳12月17日	某書状	折紙	口口(花押)	田新/矢勘/まいる	古文書133-8	天正12年目代昭世引付紙背
146	年月日未詳	小太刀覚書				古文書133-9	天正12年目代昭世引付紙背
147	天正7年12月4日	可然書状		可然(花押)		古文書133-10	天正12年目代昭世引付紙背
148	年未詳6月吉	年貢算用状				古文書133	天正12年目

	日					-11	代昭世引付 紙背
149	年月日未詳	年貢算用状				古文書133 -12	天正12年目 代昭世引付 紙背
150	年未詳12月2 6日	政次他一名連署 状	折紙	〈小勝〉政次(花押)／〈岡 孫〉吉(花押)	田新様／まいる／ 人々御中	古文書133 -13	天正12年目 代昭世引付 紙背
151	年未詳12月2 8日	黒川宗治書状	折紙	〈黒川次右衛門尉〉□□(宗 治)(木版花押)	田布勢新介殿／御 宿所	古文書133 -14	天正12年目 代昭世引付 紙背
152	年未詳5月25 日	某書状	折紙	飛	田新／矢勘／進之 候	古文書133 -15	天正12年目 代昭世引付 紙背
153	年月日未詳	しゆかん書状		しゆかん	田布勢新介殿／ま いる人々	古文書133 -16	天正12年目 代昭世引付 紙背
154	年未詳11月2 9日	村井春長軒貞勝 書状案		〈春長軒〉(村井)貞勝	諏方飛驒守殿／御 返報	古文書133 -17	天正12年目 代昭世引付 紙背
155	年月日未詳	某書状案				古文書133 -18	天正12年目 代昭世引付 紙背
156	年月日未詳	寿佳書状		寿佳	田新さま／まいる／ 人々御中	古文書133 -19	天正12年目 代昭世引付 紙背
157	年未詳12月2 2日	政家書状	折紙	〈猪衛門尉〉政家(花押)	田新様／人々御中	古文書133 -20	天正12年目 代昭世引付 紙背
158	年未詳12月 晦日	長田宗祐書状	折紙	宗祐(花押)	侍従殿／まいる／ 御坊中	古文書133 -21	天正12年目 代昭世引付 紙背
159	年未詳正月4 日	目代昭世書状	折紙	〈北野目代さかミ〉昭世(花 押)	知善公 御宿所	古文書133 -22	天正12年目 代昭世引付 紙背
160	年月未詳11 日	中坊友昌書状	折紙	〈八幡山 中坊〉友昌(花押)	□□□□	古文書133 -23	天正12年目 代昭世引付 紙背
161	年未詳6月18 日	政家書状	折紙	〈猪右衛門〉政家(花押)	□新様 返報	古文書133 -24	天正12年目 代昭世引付 紙背
162	年未詳12月5 日	宗好書状	折紙	宗好(花押)	田新□／人々御中	古文書133 -25	天正12年目 代昭世引付 紙背
163	年月日未詳	某書状			田新右	古文書133 -26	天正12年目 代昭世引付 紙背
164	年月日未詳	某書状				古文書133 -27	天正12年目 代昭世引付 紙背
165	年月日未詳	済晴書状		済晴		古文書133 -28	天正12年目 代昭世引付 紙背
166	年未詳11月1 5日	経友書状		経友(花押)	謹上 目代□増殿	古文書133 -29	天正12年目 代昭世引付 紙背
167	年未詳正月1 0日	梅寿丸書状		梅寿丸	政所法印御房	古文書133 -30	天正12年目 代昭世引付 紙背
168	年未詳4月21 日	澄正房盛可書状		澄正房	〈北野〉目代殿ま いる／御宿所	古文書133 -31	天正12年目 代昭世引付 紙背
169	年月日未詳	某書状				古文書133 -32	天正12年目 代昭世引付 紙背
170	天正12年9月	補任状案断簡	断	能長(在判)	千菊丸	古文書133	天正12年目

	10日		簡			-33	代昭世引付 紙背
171	天正12年12月1日	断簡	断簡	能貞	北野宮寺 御祈所	古文書133-34	天正12年目 代昭世引付 紙背
172	年月日未詳	勘定断簡	断簡			古文書133-35	天正12年目 代昭世引付 紙背
173	年未詳極月23日	澄正房盛可書状		澄正房	目代殿まいる／御宿所	古文書133-36	天正12年目 代昭世引付 紙背
174	年月日未詳	勘定断簡	断簡			古文書133-37	天正12年目 代昭世引付 紙背
175	年月日未詳	勘定断簡	断簡			古文書133-38	天正12年目 代昭世引付 紙背
176	天正15年	北野大茶会高札					
177	(天正15年)	北野大茶会定高札					
178	(天正15年)12月25日	片桐且元判物写		片桐(且元)市正	〈北野〉社人中	古文書134	
179	(天正16年)6月20日	豊臣秀吉願文	折紙	(豊臣秀吉)(花押)	北野	古文書135	
180	天正17年3月10日	目代昭世・能福連署状写	折紙	〈目代〉〈さかミ〉昭世〈判〉／能福〈判〉	能松坊 まいる	古文書136	
181	天正17年9月14日	三中起請文		三中(花押)	小畠左衛門尉殿／稲波左近殿／長田越中入道殿	古文書137	
182	年未詳5月19日	某書状		(略押)	御仙様／半次様御報	古文書138-1	天正18年目 代昭世日記 紙背
183	年月日未詳	某書状			さもし様まいる 人々御中	古文書138-2	天正18年目 代昭世日記 紙背
184	年未詳3月15日	徳川秀忠書状	折紙	(徳川)〈武蔵守〉秀忠(花押)	能舜	古文書139	
185	天正19年9月13日	豊臣秀吉朱印状	折紙	(豊臣秀吉)(朱印)	宮仕	古文書140	
186	天正19年9月23日	豊臣秀吉朱印知行目録		(豊臣秀吉)(朱印)	松梅院(禅永)	古文書141	
187	天正20年7月14日	豊臣秀次願文		(豊臣秀吉)(朱印)		古文書142	
188	年未詳9月日	目代昭世他二名願書		昭世(花押)／能松／能作(花押)	民部法印様	古文書143	
189	年未詳12月20日	目代昭世書状写	折紙	〈北野目代〉昭世〈判〉	〈江西庵代次〉寿斎老 まいる 御宿所	古文書144	
190	年未詳11月3日	兵部卿・法橋書状(前欠)					紙背に応永16年10月23日 北野社御十号口伝書写
191	文禄元年12月13日	前田玄以判物	折紙	(前田)玄以(花押)	西京七保神人中	古文書145	
192	文禄元年12月17日	前田玄以判物	折紙	(前田)玄以(花押)	西京七保神人中	古文書146	
193	文禄2年5月25日	木食応其願文		応其〈敬白〉		古文書147	
194	文禄3年5月日	切紙口伝条々(写)					
195	文禄3年10月8日	東光寺御供覚帳				古文書148	
196	年未詳2月11日	前田玄以折紙	折紙	(前田)玄以(花押)	西京／大將軍／惣中	古文書149	
197	年未詳10月13日	前田玄以折紙	折紙	〈(前田)民部卿法印〉玄以(花押)	西京／惣中	古文書150	
198	年未詳11月1日	前田玄以書状	折	〈(前田)民法印〉玄以(花押)	松梅院参	古文書151	

	日		紙			
199	慶長3年8月17日	豊臣秀吉朱印知行目録		(豊臣秀吉)(朱印)	〈北野〉松梅院(禪昌)	古文書152
200	慶長4年2月9日	葛西長弘判物	折紙	〈(葛西)太兵〉長弘(花押)	一保	古文書153
201	(慶長4年)2月9日	葛西長弘判物	折紙	〈葛西太兵衛〉長弘(花押)	西京社家神人中	古文書154
202	年未詳12月13日	近清・久隆・正光連署状	折紙	近清(花押)／久隆(花押)／正光(花押)	小七右様	古文書155
203	慶長5年2月8日	葛西長弘判物	折紙	〈葛西太兵衛尉〉長弘(花押)	神人中	古文書156
204	(慶長5年)2月8日	葛西長弘判物	折紙	〈(葛西)太兵〉長弘(花押)	西京／神人中／まいる	古文書157
205	年未詳8月4日	前田玄以折紙	折紙	〈前田)玄以(花押)	葛西太兵衛(長弘)殿	古文書158
206	年未詳8月18日	前田玄以黒印状	折紙	〈(前田)徳善院)玄以(黒印)	松梅院床下	古文書159
207	慶長5年9月21日	徳川家康禁制		(徳川家康)		古文書160
208	(慶長6年)6月26日	松田政行書状	折紙	〈松勝右(松田勝右衛門)〉政行(花押)	松梅院様人々御中	古文書161
209	慶長6年7月3日	能松・目代昭世連署状写	折紙	能松く判)／く目代)昭世く判)	明西庵老まいる御宿所	古文書162
210	年未詳10月26日	板倉勝重書状写	折紙	〈板四郎右(板倉勝重)〉勝重く在判)	松田勝右(勝右衛門政行)様 御中	古文書163
211	(慶長7年)10月27日	正重書状	折紙	〈水作之大夫)正重(花押)／伏見より	松梅院様参貴報	古文書164
212	(慶長7年)10月28日	正重書状	折紙	〈水作之大夫)正重(花押)、伏見より	松梅院様参て候	古文書165
213	年未詳2月24日	黒田如水書状		(黒田)如水	松梅院玉床下	古文書166
214	慶長9年閏8月22日	板倉勝重下知状	折紙	伊賀守(板倉勝重)(花押)	阿弥陀寺	古文書167
215	慶長9年閏8月22日	板倉勝重下知状	折紙	伊賀守(板倉勝重)(花押)	東光寺	古文書168
216	慶長9年閏8月22日	板倉勝重下知状	折紙	伊賀守(板倉勝重)(花押)	麗衣堂	古文書169
217	慶長9年閏8月22日	板倉勝重下知状	折紙	伊賀守(板倉勝重)(花押)	安楽寺	古文書170
218	慶長9年12月13日	板倉勝重下知状		伊賀守(板倉勝重)源朝臣(花押)		古文書171
219	慶長9年12月20日	板倉勝重下知状		伊賀守(板倉勝重)源朝臣(花押)		古文書172
220	(慶長12年)2月28日	板倉勝重書状	折紙	〈(板倉)板伊賀守)勝重(花押)	松梅院(禪昌)御坊中	古文書173
221	(慶長12年)3月18日	片桐且元書状	折紙	〈(片桐)片市正)且元(花押)	松梅院(禪昌)玉床下	古文書174
222	(慶長12年)5月1日	板倉勝重書状	折紙	〈板倉伊賀守)勝重(花押)	勤修寺(光豊)中納言様 尊答	古文書175
223	(慶長12年)5月25日	片桐貞隆書状		〈(片桐)片主膳正)貞隆(花押)	松梅院御宿所	古文書176
224	(慶長12年)6月11日	川那部八左衛門書状	折紙	川那部八左衛門(花押)	松梅院様尊答	古文書177
225	年未詳7月11日	某書状		□□(花押)、山口院 □□	松梅院人々御中	古文書178
226	(慶長12年)8月8日	中井正清書状	折紙	中井(正清)大和守(花押)	松梅院様貴報	古文書179
227	(慶長12年)9月14日	井上小左衛門書状	折紙	(井上)井小左衛門(花押)		古文書180
228	(慶長12年)9月19日	加満長順書状	折紙	〈加満)長順(花押)	小七右(小島七右衛門)殿まいる	古文書181
229	(慶長12年)9月29日	片桐貞隆書状	折紙	〈(片桐)片主膳正)貞隆(花押)	松梅院(禪昌)御返報	古文書182
230	(慶長12年)10月1日	荒木勝太書状		(草名)(花押)／(北野作事奉行・荒木勝太)荒木勝太	松梅院(禪昌)人々御中	古文書183
231	(慶長12年)10月	板倉勝重書状	折	〈板倉伊賀守)勝重(花押)	松梅院様(禪昌)貴	古文書184

	月20日		紙		報		
232	年未詳10月21日	大炊御門経頼書状	折紙	〈大炊大〉経頼(花押)	松法印サマまいる	古文書185	
233	年未詳11月9日	大炊御門経頼書状	折紙	〈大炊大〉経頼(花押)	□□様人々御中	古文書186	
234	(慶長12年)12月1日	片桐貞隆書状	折紙	〈(片桐)片主膳〉貞隆(花押)	松梅院人々御中	古文書187	
235	慶長12年12月5日	官宣旨		右大史小槻宿祢(花押)	左中弁(広橋総光)藤原朝臣(花押)	古文書188	
236	慶長12年1月5日	北野社再興棟札(良恕筆)					
237	慶長12年12月13日	豊臣秀頼願文	折紙	右大臣正二位豊臣朝臣秀頼敬白		古文書189	
238	年月未詳14日	幸蔵主書状	折紙	かうさうす(幸蔵主)	又まいる／せうはい(松梅)院さま人々御中	古文書190	
239	年月未詳27日	ちやあ書状					
240	年月未詳19日	幸蔵主書状	折紙	かうさうす(幸蔵主)	松はい院さままいる	古文書191	
241	年未詳1月17日	荒木勝太書状	折紙	(荒木)荒少太(草名)(花押)	松梅院様人々御中	古文書192	
242	年未詳1月25日	杉三郎書状	折紙	杉三郎(花押)	松梅法印様まいる人々御中	古文書193	
243	年未詳3月10日	松勘右・城忠兵衛連署状	折紙	〈松勘右〉正繁(花押)／〈城忠兵〉(草名)(花押)	間忠介さま／〈寿斎老〉御返報	古文書194	
244	年未詳3月29日	城忠兵衛書状	折紙	〈城忠兵衛〉(草名)(花押)	松梅院様人々御中	古文書195	
245	慶長15年8月25日	徳川家康夢想連歌		源營(花押)	能舜	古文書196	
246	慶長15年11月10日	御供所八嶋言上状		〈御供所〉八嶋(花押)	松梅院御奉行中	古文書197	
247	年未詳12月4日	天海書状	折紙	〈南僧正〉天海(花押)	徳勝院様／松梅院様几下	古文書198	
248	年未詳3月14日	亀屋栄任書状	折紙	(亀屋)栄任(花押)	松梅院老人々御中	古文書199	
249	(慶長18年)3月22日	里村昌琢書状	折紙	〈(里村)什斎〉昌琢(花押)	松梅院(禅昌)様まいる人々御中	古文書200	
250	(慶長18年)3月26日	専斎他連署状	折紙	〈西〉(草名)(花押)／〈佐〉専斎(花押)	松法印様人々御中	古文書201	
251	(慶長18年)4月15日	林道春書状		(林)道春(花押)／民部卿法印道春	長谷縫殿助様御報	古文書202	
252	(慶長18年)5月20日	亀屋栄任書状		栄任(花押)		古文書203	
253	(慶長18年)6月17日	天海書状	折紙	〈南光房僧正〉天海(花押)	〈北野宮仕中〉能運／能金／能札／能存／能作／能松	古文書204	
254	(慶長18年)7月29日	天海書状	折紙	〈南光房僧正〉天海(花押)	〈北野宮仕中〉能運／能金／能札／能存／能作／能松	古文書205	
255	慶長18年12月21日	能念書状		能念(花押)	小畠七右衛門殿	古文書206	
256	慶長20年2月25日	指図		松梅院 禅意(花押)		古文書207	
257	年未詳4月16日	中院通勝書状	折紙	(也足軒・中院通勝)也足	能長／能閑／能札	古文書208	
258	年未詳6月9日	稲葉九兵衛書状	折紙	〈稲葉九兵衛〉(草名)(花押)	松梅様貴報	古文書209	
259	年未詳7月13日	某書状	折紙	□(花押)	安然斎まいる人々御中	古文書210	
260	年未詳8月4日	某書状	折紙	〈正□□□□□(花押)〉	松梅院様人々御中	古文書211	
261	年未詳8月5日	松勘右・城忠兵衛連署状	折紙	〈松勘右〉正繁(花押)／〈城忠兵〉(草名)(花押)	松法印様人々御中	古文書212	
262	年未詳10月23日	中院通勝書状	折紙	(也足軒・中院通勝)也足	能長／能閑／能札返事	古文書213	

263	年未詳12月8日	埴原八蔵書状	折紙	〈埴原八蔵〉□□(花押)	孫右衛門殿まいる	古文書214	
264	年月日未詳	長得書状		長得	ともし御□□へ／侍 しや(者)の御中 へ	古文書215	
265	年月日未詳	板倉勝重書状		(板倉勝重)板伊賀守	松梅院床下	古文書216	

4. 史料翻刻

【北野天満宮寄進状壹卷】

本文書については、『筑波大学附属図書館特別展「学問の神」をささえた人びと』（筑波大学附属図書館、二〇〇二年）に山本隆志氏による解説が施され、目録も掲載されているので参照されたい。

料紙は四一丁で、すべて同一の筆跡であり、紙背の継目には幕府奉行人松田長秀の花押が据えられ、全七三通で卷子にされている。おそらくは松梅院の要請を受けて松田長秀のもと長享二年（一四八八）後半に作成され、袖に義尚の花押が据えられたものと推測される。この義尚花押についてはなぞりが多く、本人が据えたものではない可能性が指摘されており、筆遣いは本文と似通っていることから、重書案を書写した人物が花押も据えたのではないだろうか。

文書の宛所は松梅院とされるものが多いことから、この卷子は松梅院に伝来したものと思われる。現在では原本の存在が確認できない文書も多数含まれており、貴重である。他の引付や文書とともに市中に出回ったものを東京文理科大学で購入し、東京教育大学を経て現在では筑波大学図書館所蔵となっている。

（箱書）

「北野天満宮寄進状 壹卷

御朱印写

（付箋）

「紙数四十壹丁」

一 足利尊氏寄進状

寄進 北野天満大自在天神

丹波国船井庄地頭職

右、為天下泰平所願成就家門繁栄、令寄進之状如件、

建武三年五月廿五日 源朝臣御判

二 足利直義御教書

北野天満宮社僧等毎日祈祷可令勤行條々

一、長日不断常燈事、重代師職石見新法眼禪師 助法眼守應可令勤仕候也

一、一社長日可令転読大般若経事

一、一社長日可令転読法華経事

一、一社長日可令読誦金剛般若経事

一、毎日御神樂可令勤仕事

已上以丹波国船井庄地頭得分爲料足可令勤仕之、次同庄所務并毎日勤行奉行事、禪陽守慶依爲重代祈禱之師職令仰付之上者、令停止別当并政所綺、永代全知行為兩人之計、一社平均可令宛行之者也、

右以前條々毎日不闕可令勤行也、抑当社天満宮者、得自在於天地施利生於都鄙、然間貴賤預彼益道俗蒙其德、爰幕府左兵衛督尊氏并左馬頭直義、依被院宣可令誅伐逆惡之奸臣義貞之党類也、就之今度合戰勝利偏任天神之擁護、仰御靈之効驗處、每度之真応相催感涙畢、然間令寄進丹州船井庄、所定置毎日勤行之次第也、夫世之得治者有撰賢哲人之長運者、依行仁義仰願天神添力御靈加威、若朝有奸濫之輩不討而自代于忠臣、若家有讒佞之仁者不退而早歸于善人、將亦答此懇丹、義貞及殘党等速加誅伐之、復忠良成群輔佐守義、上下之政化扇舜鳳、文武之德沢均周年、然者寿福持長久之運、本枝可誇百世之榮者也、仍所定如件、
建武參年八月十八日 左馬頭源朝臣御判

三 足利尊氏御教書

北野社師職之事、被仰守慶法眼之條、參差之上者、早停止彼綺任代々之佳例、如元可被致祈禱精誠之如件、

觀応二年八月十日 御判

石見法眼御房

四 足利直義御教書

北野社領丹波国船井庄事、止助法眼守慶知行、如元致其沙汰、可被全有限神用之狀如件、

觀応二年八月十三日

御判

五 足利義詮御教書

為凶徒対治、祈禱転読大般若經、殊可被致精誠之狀如件、

觀応二年十月廿三日

御判

六 足利義詮寄進狀

寄進

北野社

摂津国鵜飼瀬事

右為天下安全、奉寄之狀如件、

延文五年八月九日

参議左近中将源朝臣御判

七 足利義詮寄進状

寄進

北野社

駿河国河原一色地頭職清武跡事

右為天下安全、所奉寄之状如件、

康安元年九月廿七日

参議左近中将源朝臣御判

八 後光嚴天皇綸旨

当社領能登国菅原庄、所被付社家也、可全神用之由、可令下知給之旨、
天氣所候也、仍上啓如件、

貞治四年七月卅日 右中弁在判

謹上 北野別当僧正御房

追上啓、此事依武家奏聞、其沙汰候也、

九 足利義詮御教書

北野社三年一請会料所能登国菅原庄事、当庄給主在俊於貞治元年所役者乍捧請文無沙汰、
当年分亦背催促対捍之間、神事闕如、違武命罪科重疊訖、仍以件庄被付社家、可被全永代
神用之旨、依經 奏聞、被下 綸旨云々、此上社領不可有相違之状如件、

貞治四年八月一日 權大納言御判

当社別当僧正御房

一〇 後光嚴天皇綸旨

能登国菅原庄、如元所被付社家也、可令領掌給之由、
天氣所候也、仍上啓如件、

応安三年九月十八日 左中弁在判

謹上 北野別当僧正御房

一一 足利義滿御教書

御判

北野社領能登国菅原庄半分事、石見法眼禪嚴奉行職、不可有相違、早全知行可專神用之狀如件、

至德三年正月廿八日

一二 北野社別当書下

当社領能登国菅原庄奉行職事、云至德三年正月廿八日安堵御下知、云今度一円申沙汰之忠節、旁以禪嚴法印子々孫々相伝領掌不可有相違之狀如件、

応永二年二月廿五日

別当阿闍梨僧正御判

阿闍梨權大僧都在判

一三 足利義滿寄進狀

奉寄

北野宮寺

飛驒国荒木郷内田地在所注文
相副之事

右所寄進之狀如件、

応安六年十一月十二日

左馬頭源朝臣御判

一四 足利義滿寄進狀

近江国中庄内田井郷地頭方事、帶佐渡大夫判官入道導譽寄進狀、為拝殿燈明料所、杜家当知行上者、不可有相違狀如件、

永和五年三月十二日

右近衛大將源朝臣御判

一五 足利義滿寄進狀

奉寄

北野社

撰津国富田方矢野十郎
入道跡事

右為本寄進一具社家知行令然之間、重所奉寄也者、守先例可有沙汰之状如件、

康暦元年四月廿五日

右近衛大將源朝臣御判

一六 足利義滿寄進状

奉寄

北野宮

加賀国笠間保年貢事

右当社兩季三月為法華八講料所、所寄進之状如件、

至徳三年十二月廿五日

左大臣源朝臣御判

一七 足利義滿寄進状

奉寄

北野宮

參河国星野高井彦四郎跡事

右任一色修理大夫入道信伝康暦元年十一月十日寄進状、可令為当社領之状如件、

康応元年二月十六日

從一位源朝臣御判

一八 足利義滿寄進状

奉寄

北野宮寺

美濃国芥見庄内日野郷地頭職志多見跡事

右先寄進之替、為社領修造料所、所令寄進也者、任先例可致沙汰之状如件、

康応元年十月廿一日

從一位源朝臣御判

一九 足利義滿寄進状

北野社領撰津国得位時枝庄領家職事

右任沙門覺円寄進狀、可令為当社領之狀如件、

明德元年五月廿五日

從一位源朝臣御判

二〇 足利義滿寄進狀

奉寄

北野宮

美濃国則松則松入道跡事

右為秋冬八講料所々寄進之狀如件、

明德二年九月廿六日

從一位源朝臣御判

二一 足利義滿寄進狀

奉寄

北野宮

撰津国榎並上庄半分事

右所寄進之狀如件、

明德二年十二月廿九日

從一位源朝臣御判

二二 足利義滿寄進狀

北野宮領撰津国榎並下庄所職事、成下知於社家畢、山名為知行雖有申族、更神領不可有相違狀如件、

明德二年十二月廿九日

從一位源朝臣御判

二三 足利義滿御教書

当社諸神領事、停止地下契約之儀、社家可致直務狀如件、

明德四年六月廿一日 御判

北野宮御師松梅院法印房

二四 足利義滿寄進状

寄附

北野宮

美作国長岡庄内藤原村五名事

右任山名修理大夫入道々弘寄進状、可為当宮領之状如件、

応永元年八月十八日

從一位源朝臣御判

二五 足利義滿寄進状

寄附

北野宮

因幡国岩井庄内吉田保竹見小羽尾両村事

右任飯尾掃部亮宗英申請之旨、所寄附之状如件、

応永二年二月十二日

太政大臣源朝臣

二六 足利義滿御教書

北野社三年一請会料所能登国菅原庄半分事、雖宛行小納言言長、被付社家之条、貞治四年八月一日御判御教書分明之上者、如元所返付 当社也者、早領掌不可有相違之状如件、

応永二年二月十二日

太政大臣源朝臣御判

二七 足利義滿寄進状

寄附

北野御靈社

越前国社庄佐々木五郎左衛門尉跡事

右為美濃国久津替、所寄附之状如件、

応永五年五月二日

入道准三宮前太政大臣御判

二八 足利義滿寄進狀

寄附

北野宮

近江国田上中庄領家職建部社神主禰宜兩職同神田田上郎跡事
右為祈禱料所、々寄附之狀如件、

応永五年六月十五日

入道准三宮前太政大臣御判

二九 足利義滿寄進狀

寄附

北野宮

摂津国東成郡内郡戸庄松田八郎左衛門尉満秀跡事
右所寄附之狀如件、

応永五年十一月廿六日

入道准三宮前太政大臣御判

三〇 足利義滿寄進狀

寄附

北野宮

但馬国氣比庄水上領家職事
右所者去永和四年五月十八日青蓮院一品親王家所有御寄附当宮也者、早領掌不可有相違之狀如件、

応永六年六月廿九日

入道准三宮前太政大臣御判

三一 足利義滿寄進狀

寄附

北野宮寺

山城国久世郡内上奈良分事
右寄附之狀如件、

応永六年十月廿七日

入道准三宮前太政大臣御判

三二 足利義滿寄進狀

寄附

北野宮寺

和泉国坂本郷并七ヶ里地頭職同国八田地頭領家兩職事

右為若狭国阿賀庄之替、所寄附当社之狀如件、

応永六年十二月廿四日

入道准三宮前太政大臣御判

三三 足利義滿寄進狀

尾張国本神戸散在除藤一丸事
安堵地事

右任比丘尼真照寄進、可為北野宮寺領之狀如件、

応永七年八月十一日

入道准三宮前太政大臣御判

三四 室町幕府管領畠山基国奉書

施行案

北野宮寺領雜掌申尾張国本神戸散在除藤一丸事
安堵地事、早任安堵可被沙汰付社家雜掌之由、所被仰下也、仍執達如件、

応永七年八月十一日

沙弥在判

左衛門佐殿

三五 尾張国守護斯波義教施行狀

北野宮寺領雜掌申尾張国本神戸散在除藤一丸事
安堵地事、任去十一日施行之旨、可沙汰付社家雜掌之狀如件、

応永七年八月十三日

在判

甲斐美濃入道殿

三六 足利義滿御教書

美濃国賀茂郡蜂屋三ヶ一色内世良田村事、任多治見次郎貞康去年八月十三日寄進、可為北野宮寺領之狀如件、

応永十九年六月廿三日

入道准三宮前太政大臣御判

三七 足利義持御教書

御判

北野宮寺師職事、所仰付禅能法橋也、早全本新寄附神領、守代々佳例、可抽祈禱精誠之狀如件、

応永十二年五月十二日

三八 足利義持寄進狀

寄附

北野宮寺

美濃国綾野郷野間中務
入道勝事

右所寄附当社之狀如件、

応永十五年十月四日

右近大將源朝臣御判

三九 足利義持御教書

御判

北野宮寺領本新当知行所々事、有本主雖及訴詔、有其理者可宛行替地於宮寺領者、永代為不易之地、可專神用、至奉行職者禅能法眼可全領知之狀如件、

応永十六年九月廿日

四〇 室町幕府管領細川勝元下知狀

北野宮寺領本新知行分所々事、号本主雖及訴詔、有其理者可被宛行替地於宮寺領者、永代為不易地、任去応永十六年九月廿日御判之旨、止方々競望、可專神用、至奉行職者禅能之子孫可全領知之由、所被仰下也、仍下知如件、

文安二年八月廿五日

右京大夫源朝臣御判

四一 室町幕府管領細川勝元奉書

北野社御師職事、光園院鎮慶雖歎申之、觀応年中御判明鏡之間、被棄捐之訖、早任度々御判御教書等之旨、領掌不可有相違之由、所被仰下也、仍執達如件、

文安二年十一月廿日 右京大夫在判

松梅院

四二 足利義持寄進狀

寄附

北野宮寺

美作国吉野林野兩保事

右為四季御供并八講料所々寄附当宮之狀如件、

応永十九年五月七日

内大臣源朝臣御判

四三 後小松上皇院宣

内野新開下地<sup>降大觀藤式
町、梨本意町</sup>所被寄附北野社也、殊專造營弥可被致天下安全之御祈禱者 院宣如此、
悉之、以狀、

応永廿年七月五日

按察使判

松梅院法眼房

追仰

於陳官人分者、被召置請文上者、不可有相違之由、其沙汰候也、

四四 足利義持寄進狀

寄附

北野社

越前国得光保事

右為造營料所々返付当社之狀如件、

応永廿三年十二月晦日

内大臣源朝臣御判

四五 足利義持寄進状

寄附

北野社

山城国池田庄事

右為信誼大般若經并常燈料所所返付当社之状如件、

応永廿四年二月廿二日

内大臣源朝臣御判

四六 足利義持寄進状

寄附

北野社

河内国八ヶ所事

右為不朽造営料所々返付当社之状如件、

応永廿五年十一月廿五日

内大臣源朝臣御判

四七 足利義持寄進状

寄附

北野社

和泉国大鳥庄内下條事

右為不朽造営料所々返付当社之状如件、

応永廿五年十一月廿五日

内大臣源朝臣御判

四八 足利義持寄進状

寄附

北野宮寺

加賀国長崎保山代本郷半分、福田領家豊田内式町余事

右所令寄附当社之状如件、

応永廿五年十二月十八日

内大臣源朝臣御判

四九 足利義持寄進状

寄附

北野宮寺

加賀国小泉保内田地拾町事

右任富樫介満春寄進状、領掌不可有相違之状如件、

応永廿六年三月二日

内大臣源朝臣御判

五〇 足利義持寄進状

寄附

北野宮寺

河内国拾七箇所内葛原郷事

右所寄附当杜之状如件、

応永廿七年七月廿二日

從一位源朝臣御判

五一 足利義持寄進状

寄附

北野宮寺

近江国高嶋郡佐々木田中下野守跡事

右所寄附当杜之状如件、

応永廿八年六月三日

從一位源朝臣御判

五二 足利義持御教書

北野宮寺領近江国西万木地頭職佐々木田中之跡事、先度以内儀令優免云々、雖然為彼田中跡一隅地之上者、杜家可全領知之状如件、

応永卅四年四月三日

御判

松梅院法印御房

五三 室町幕府管領細川勝元奉書

近江国高嶋郡田中庄事、被返付北野宮寺訖、早任先例可被沙汰之由所被仰下也、仍下知如件、

文安五年十二月廿六日

右京大夫源朝臣在判

五四 足利義政御教書

北野宮寺領近江国高嶋郡田中庄同国西万木地頭職等事、任度々御判之旨所還附也、早如元社家可全領知之状如件、

康正二年十二月廿三日

御判

五五 足利義政御教書

北野宮寺領河内国八箇所、美作国吉野保・林野保、能登国菅原庄、和泉国大鳥下条、美濃国日野郷、飛騨国荒木郷、丹後国時武保・同景恒名、近江国田中郷・西万木地頭職、山城国池田庄一円・内野島内寮大明神敷地式町等事、帶数度之證文当知行無相違之處、動有違乱之族云々、太無謂、早退方々妨松梅院禪椿弥可全領知之状如件、

文明十四年十二月十八日

准三宮御判

五六 足利義政御教書

北野宮寺領撰津国榎並上庄半分同下庄東方事、密乘院禪杲雖申子細、不能許容、早任数通證文并先祖法印禪巖讓状等之旨、松梅院禪椿弥領掌不可有相違之状如件、

文明十四年十二月十八日

准三宮御判

五七 足利義政御教書

北野宮寺領撰津国榎並上庄半分・同下庄東西同所職・同国郡戸庄、越前国社庄等事、宝成

院明充雖申子細不能許容、早任御寄附以來數通證文之旨、松梅院禪椿弥領知不可有相違之狀如件、

文明十四年十二月十八日

准三宮御判

五八 足利義持寄進狀

寄附

北野御靈社

近江国馬杵庄事

右所寄附当社之狀如件、

応永廿八年十二月廿五日

從一位源朝臣御判

五九 足利義持御教書

撰津国葦屋庄領家職事、於去応永十年広田并南宮兩社御寄附狀者所召返也、早任応永八年二月五日御判之旨、北野宮寺雜掌可領知之狀如件、

応永三十年三月十一日

從一位源朝臣御判

六〇 足利義政寄進狀

寄附

北野宮寺

加賀国富墓庄_{治長知行分}事

右所寄附当社之狀如件、

応永卅年八月十二日

菩薩戒弟子御判

六一 足利義政御教書

北野宮寺領加賀国富墓事、高辻少納言長直朝臣雖申子細、於当庄為根本社領本役百斛社納之条分明也、然去応永卅年治長知行分彼庄一円被寄附宮寺訖、爰永享四年高辻庶流断絶之時有其沙汰、訪意見雖被返付之、如彼意見狀者、對社家不及糺決者歟、殊件御判号紛失捧

案文之旨、胸臆至也、縱雖帶數多之證文、既忘永卅年寄附之段炳焉之上者、爭以神領可返人給哉、云彼云是長直朝臣所申不能許容、所詮社家弥全領知可專神用、至奉行職者松梅院禪椿相續不可有相違之狀如件、

文明九年九月廿七日

准三宮源朝臣御判

六二 足利義持御教書

御判

北野社領山城国菱田下司職并下狛以下散在田地等武田判部少輔
信長跡事、早任永藤寄進狀專社用、於奉
行職者法印禪能可致沙汰之狀如件、

応永卅一年二月廿三日

六三 足利義持御教書

北野宮寺領諸国庄園田畠洛中辺土敷地目錄在別紙事、右伊勢造宮付諸社御禊大會臨時恒例課役等、
准三社領三代御起請符之地、永令免除之處、動有催促之輩云々、太不可然、於向後者每度雖不被仰出之、悉以永代所令免除也、然早諸国守護并諸奉行人以下可存知此旨也、於天満宮領者敬神異于他之間、重被定大法畢、社家存此趣全本新当知行神領、弥致興隆可專神事之狀如件、

応永廿三年八月廿五日

内大臣源朝臣御判

六四 足利義政御教書

北野宮寺造營料所和泉国大鳥下条、美濃国日野郷、越前国得光保、内野畠等奉行職事、所被還付社家也、早法眼禪親如元全領知可抽造功之狀如件、

長祿二年四月十六日

右近衛大将源朝臣御判

六五 足利義政御教書

北野宮寺領河内国八ヶ所・同嶋頭庄、摂津国榎並上庄半分・同下庄東・郡戸庄・富田鵜飼瀬・得位時枝、丹波国桐野牧河内村十七町、丹後国時武保、但馬国氣比庄、美作国吉野保・林野保、山城国池田庄一円、近江国田中郷并西万木地頭職・同国八坂庄、越前国社庄、

加賀国福田庄領家・山代本郷半分・長崎保豊田内貳町余・富墓庄・小泉保、能登国菅原庄、飛騨国荒木郷等事、如元所還付也、早法眼禪親領知不可有相違之状如件、

長祿二年四月十六日

右近衛大将源朝臣御判

六六 足利義政御教書

北野宮寺領諸国所々目錄在別紙奉行職事、早松梅院禪豫令領掌專神役可抽祈禱精誠之状如件、

寛正六年七月廿四日

左大臣源朝臣御判

六七 足利義政御教書

北野宮寺造営料所和泉国大鳥庄内下条、美濃国日野郷地頭職、越前国得光保并内野島等事、於奉行職者、松梅院禪豫令領知之可致不朽修造之状如件、

寛正六年七月廿四日

左大臣源朝臣御判

六八 北野社領諸国所々目錄

北野社領諸国所々目錄

- 一、丹波国船井庄
- 一、同国吾雀西方領家半分
- 一、同国氷所之内愛宕田但寺阿当護新免
- 一、同国桐野牧河内村之内田地拾柒町
- 一、山城国池田庄一円
- 一、同国上奈良郷
- 一、同国宮城内野島并新開右馬寮
- 一、同国祝菌庄
- 一、同国五条内裏敷地半分四半町
- 一、同国左馬寮領
- 一、同国菱田庄
- 一、同国和束庄
- 一、同国西京新御寄進并御所之内
- 一、同国宇治之内三郎五郎茶菌
- 一、近江国田中郷并西万木地頭職

- 一、同国八坂庄
- 一、同国甲賀郡馬杵庄
- 一、同国建部庄二職方
- 一、同国勢田建部社神主田上三郎跡
- 一、同国新賀木葉落
- 一、同国栗太郡大萱村地頭職
- 一、同国石田郷上方一色内田地耆町
- 一、同国中庄之内田井郷
- 一、同国高嶋郡新庄之内北野田式町柒段小
- 一、美濃国日野郷地頭領家
- 一、同国則松郷
- 一、同国多藝領家
- 一、同国綾野郷
- 一、同国賀茂郡蜂屋三ヶ一色内世良田村
- 一、同国古橋領家
- 一、同国文殊内上分
- 一、越前国得光保
- 一、同国社庄
- 一、同国糸生郷山方
- 一、同国榎富上庄内幸禅名
- 一、河内国八箇所
- 一、同国葛原庄
- 一、和泉国坂本郷庄
- 一、同国大鳥下條
- 一、同国八田庄
- 一、駿河国河原一色
- 一、美作国長岡庄藤原村五名
- 一、同国吉野保
- 一、同国林野保
- 一、摂津国富田鵜飼瀬
- 一、同国葦屋庄
- 一、同国石井庄
- 一、同国得位時枝庄
- 一、同国榎並庄上東西半分下東西一円
- 一、同国郡戸庄
- 一、同国熊野田領家
- 一、加賀国西笠間保
- 一、同国福田庄領家
- 一、同国富墓庄
- 一、同国山代本郷

- 一、同国富田長崎保
- 一、但馬国氣比庄
- 一、能登国菅原庄
- 一、同国湯河四柳庄
- 一、越後国上田庄関郷
- 一、同国大積郷
- 一、備後国吉津庄上分
- 一、尾張国本神戸庄
- 一、同国下浅野保
- 一、同国野村保
- 一、同国於保新郡村
- 一、因幡国岩井庄吉田保竹見小羽尾兩村
- 一、遠江国宇都郷
- 一、同国濱松庄内鞍松郷
- 一、参河国星野高井彦四郎跡
- 一、佐渡国蜷川保
- 一、飛騨国荒木郷内田地
- 一、備中国平田郷内北野名
- 一、丹後国時武保
- 一、同国与謝郡山田郷内景恒名
- 一、播磨国小松原庄

六九 室町幕府奉行人連署奉書

北野宮寺領近江国田中郷并西万木等事、於借物之儀者為社家可被遂勘弁之、至在所者当社領之上者不可有相違之由所被仰下也、仍執達如件、

応仁元年十月廿五日

肥前守在判
（肥前為條）
 （布施美基）
 下野守在判

松梅院

七〇 室町幕府奉行人連署奉書

北野社領近江国田上中庄新賀木葉落等事、雖松千代丸代申給、任不易御判社領異于他之上者、被返付訖、早止彼競望如元全領知可被專神用之由所被仰下也、仍執達如件、

応仁元年十一月廿九日

下野守在判
（布施美基）
 （松田常雄）
 丹後守在判

松梅院

七一 室町幕府奉行人連署奉書

北野宮寺領諸国所々事、云本給人云代官職、雖有競望族、任代々不易御判等旨、不可有許容之上者、弥社家全領知可被致御祈禱精誠之由所被仰下也、仍執達如件、

応仁元年十月廿五日

肥前守 在判
金地美基
下野守 在判

松梅院

七二 室町幕府奉行人連署奉書

北野宮寺領和泉国大鳥下条事、雖波多野因幡守申給、任不易御判、社領異于他之上者被返付訖、早止彼競望如元全領知可被專神用之由所被仰下也、仍執達如件、

応仁二年十一月廿四日

下野守 在判
金地美基
松田秀興
丹後守 在判

松梅院

七三 室町幕府奉行人連署奉書

北野宮寺領越前国社庄加賀國小泉保丹後国時武保事、嚴重社領異于他之上者、止方々競望如元可被全社家雜掌所務、若猶以有違乱之輩者、就注進可被處罪科之由所被仰下也、仍執達如件、

文明三年十二月廿日

布地美基
下野守 在判
松田秀興
丹後守 在判

松梅院

【北野天満宮領丹波国船井莊相伝文書】

本文書についても、『筑波大学附属図書館特別展「学問の神」をささえた人びと』（筑波大学附属図書館、二〇〇二年）に山本隆志氏による解説が施され、目録も掲載されているので参照されたい。

宛所が助法眼守慶となつてゐるものが多いことから、光園院に伝来したものと思われる。古文書九通が卷子にされており、おそらくは江戸期に写されたと推測されている。その時点ではこれら文書の正文も存在したはずであるが、現在是不明である。この卷子はその後黒板勝美氏の所蔵するところとなり、東京大学史料編纂所架蔵影写本では黒板勝美氏所蔵文書（請求番号：3071.36-139）とされている。しかし、その後市中に回収つたようで、

一九九八年に筑波大学で購入し、現在では筑波大学附属図書館に所蔵されている。一〇八は『大日本史料』第六編に翻刻されているが、九については当該部分が未完のため、未翻刻である。

一 足利直義御教書

にしきのこうちとのさま御はん

北野社師職事、於禅陽法眼者所令改易也、向後致一円之沙汰、弥可凝精祈之状如件、

観応二年四月十八日 御判

助法^守眼御房

二 足利義詮御教書

袖御判

ほうけういんとのさま御はん

北野社領丹波国船井庄事、助法眼守慶致一円沙汰、宜令支配之状如件、

観応二年五月廿八日

三 足利尊氏御教書

とうちいんとのさま御はん

北野御師職事、被改易禅陽法眼、可致一円御祈祷之精誠之状如件、

観応貳年七月七日 御判

助法^守眼御房

四 足利義詮御教書

ほうけういんとのさま御はん

北野社領丹波国船井庄雑掌申、当庄内熊崎村興田村等事、申状具書遣之、荻野尾張権守朝忠并一宮入道慈鏡等濫妨云々、中沢次郎左衛門尉相共、今月廿五日以前莅彼所、可打渡下地於雑掌、若令違犯者、任事書之旨、可致沙汰之状如件、

観応三年八月八日（花押影）

酒井次郎左衛門尉殿

五 足利義詮御教書

□□□(凶徒討治)祈禱転読大般若經、殊可被致精誠之狀如件、

觀応二年十月廿三日 御判

北野宮社僧中

六 足利直義御教書

にしきのこうちとのさま御はん

祈禱事、殊可令致精誠之狀如件、

觀応二年二月一日 御判

寺恵
助法眼御房

七 足利尊氏御教書

□□(とら)ち院とのさま御はん

天満宮本地供養法每日一座事、以丹波国船井庄得分之内、為彼料足選器用之僧、為守慶禪陽兩人之沙汰、可令勤行之狀如件、

建武參年八月十八日 源朝臣御判

八 足利直義御教書

にしきのこうちとの

北野天満宮社僧等毎日祈禱可令勤行條々

一、長日不断常燈事重代師職助法眼守度 石見
法眼禪陽可令勤仕之也

一、一社長日可令転読大般若經事、

一、一社長日可令転読法花經事、

一、一社長日可令転読金剛般若經事、

一、毎月御神樂可令勤仕事、

已上以丹波国船井庄地頭職得分為料足、可令勤仕之、次同庄所務并毎日勤行奉行事、守慶禪陽依為重代祈禱之師職、令仰付之上者、令停止別當并政所之綺、永代全知行、為兩人之計、一社平均可令宛行之者也、

右以前條々、毎日不闕可令勤行也、抑 當社天満宮者、得自在於天地、○利生於都鄙、然間貴賤預彼益、道俗蒙其德、爰幕府左兵衛督尊氏并左馬頭直義依被 院宣、所令誅伐逆惡之奸臣義貞之党類也、就之今度合戰之勝利、偏任天神之擁護、仰御靈之効驗之、爰每度之冥応、相催感涙畢、然間令寄進丹州船井庄所定置毎日勤行之次第也、夫世之得治者有選賢

哲人之長運者、依行仁義、仰願天神添力、御靈加威、若朝有奸濫之輩者、不討而自代于忠臣、若家有讒佞之仁者、不退而早可帰于善人、將亦答此懇丹、義貞及殘党等、速加誅伐之後、忠良成群、輔佐守義、上下之政化扇舜風、文武之德沢均周年、然者寿福持長久之運、本枝可誇百世之榮之者也、仍所定如件、

建武参年八月十八日 左馬頭朝臣_{御判}

九 足利義教御教書

普廣院殿様

御判

校合了

北野祠官真滿院僧都幸隆申、社領丹後国吉園庄_{号矢内郷}領家職、播磨国英賀東西細工所、同国別納西細工所、丹波国和久庄浮田村、山城国西京中河原田_{五段}安養寺田_{壹段}事、任當知行之旨幸隆領掌不可有相違之状如件、

永享元年十月廿八日

平成 16 ～ 18 年度科学研究費補助金（若手研究（B））

研究成果報告書

北野天満宮旧蔵文書・古記録の目録作成および研究

課題番号 16720149

山田雄司（三重大学人文学部）

2007 年 3 月

印刷 伊藤印刷株式会社（津市大門 32-13）